

## 令和4年度 第3回 平塚市博物館協議会会議録

■ 開催日時 令和5年3月23日(木) 10時～11時30分

■ 開催場所 平塚市博物館 科学教室

### ■ 会議出席者(敬称略)

会 長 植田 育男

副会長 藤吉 敬子

委 員 小倉 俊宏 (書面会議の出席委員: 昆 政明、今野 博、新井志生実)

事務局 浜野館長、杉山館長代理(管理担当長)、川端館長代理(学芸担当長)

■ 傍聴者 0名

### ■ 会議の概要

1 開 会 浜野館長挨拶

2 議 事

(1) 報告事項等について

- ・ 令和4年度秋期特別展について
- ・ 第22回博物館文化祭について
- ・ ホームページ・YouTube・SNSについて

(2) 令和5年度予定について

- ・ 令和5年度当初予算について
- ・ 令和5年度事業計画について

(3) 市民アンケートの結果報告について

(4) その他

- ・ 事務連絡等

3 閉 会

\*閉会后、春期特別展の展示解説

### ■ 議事および質疑

#### 議題(1) 報告事項等について

---

◆令和4年度秋期特別展の開催報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委 員 体験学習は具体的にどのようなことを行ったのか。

館 長 体験学習の「星になった民具を使ってみよう」だが、展示した農具や漁具を使ったのではなく、「羽子板星」の羽子板や「賽子星」のサイコロを使い羽根つきや双六を行った。展示した玩具類はこの2点だけだったので、それ以外の一般的なおはじきやお手玉も混ぜて行った。

委 員 鼓を打ったりしたのかと思った。

委員長 アンケートの総合評価で、1名だけ「良くない」があったが、この内容は。

- 事務局 4 頁のいちばん下にその方の意見が記載されている。
- 委員長 当人の考え方と一致しなかったためと理解する。
- 委員長 文字が小さくて読み切れず残念だったという指摘が 50 代の 2 名の方からあるようだが。
- 館 長 解説パネルの文字の大きさは問題なかったと思うが、文字量が多かったので読みやすさを考慮する必要はあろう。文字が小さくて読みにくいという指摘は、壁面に取り付けたキャプションが読みにくかったということかもしれない。だとすれば、壁面と手前に配置する場合で文字の大きさを変える配慮は必要だろう。
- 委員長 今後の展示での着眼点として考慮されればよいかと思う。

◆第 2 2 回博物館文化祭の開催報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

- 委員 質問掲示板の趣向はとても面白い。特別展などでも実施してはどうか。質問に対して学芸員から回答をもらえるというのは貴重な体験となるし、質問したら、回答を見るためにもう 1 回来ると思う。他の方の質問と回答が見られるというのも非常に興味を引く。来館者も学芸員との接点が持ててうれしいと思う。
- 事務局 他の展示で可能であれば検討したい。
- 委員 むかし、「生協の白石さん」が話題になったように、展示とは別の楽しみができるのではないかと期待する。
- 館 長 文化祭に質問掲示板を導入したのは 10 年近く前だったと思う。アンケートや実行委員会で展示解説をしてほしいという要望がたびたび寄せられていたが、複数のワーキンググループがスケジュールを合わせて展示解説をするのは調整等が難しく実施できない状況が続いていた。解消する手立てとして、公開の質問掲示板で質問を共有し、会員ないしは担当学芸員が速やかに回答し、会期中の再来館をいざなう効果も狙って始めた。特別展で導入するのは面白いが、人気のある特別展では質問数もかなり多くなり、担当学芸員にとって励みにもなるだろうが、どこまで答えられるか不安に思う部分もある。
- 委員 それぞれのワーキンググループが大変頑張って展示や発表をされていることを強く感じた。それぞれが特別展もできるような素材や資料を集めているのだと思う。過去の積み上げを見てみたい。グループの皆さんに「大変良かった」と伝えてほしい。
- 委員長 参加するワーキンググループは、全体の半分くらいか。
- 館 長 資料 6 ページの表 1 に過去の参加ワーキンググループ数があり、コロナ前は 10 グループ以上の参加があったが、それ以降はコロナの影響で少し数が減っている状況である。
- 委員長 コロナの影響で活動が十分にできなかったということか。コロナの影響がなくなれば参加グループ数が戻ってくると考えてよいか。
- 事務局 戻していきたいと思う。参加するグループが増えるように説明を尽くしていきたい。
- 委員長 5 月にはコロナが「5 類」相当になるということで、対処方針が変わってくるが、そこでワー

キンググループの活動を活発にするという見通しはあるのか。

事務局 ポストコロナで、活動場所の定員や活動時間なども緩和していくことになるので、活動自体もより活発になっていくのではと考えている。

委員長 平塚市博物館の目玉の博物館活動であるので、コロナを機に縮小するようなことはせず、復活してもらいたい。

委員 8ページ、「知りたいこと」に「平塚遊郭について」とある。私も付近で育ったので興味がある。11月の酉の市を楽しみにしていたのだが、100年以上経つ「大鳥神社」の社殿が、つい最近移転のため撤去された。理由は、管理をしている地域の方が、高齢化などで支えきれなくなったことが原因。遊郭やその歴史などは負の記憶かもしれないが、博物館でも情報や資料を収集していると思うので、なんらかの形で残してほしい。今回、徳川家康のことが大河ドラマをきっかけに企画されているが、市内に残る伝説や言い伝えやお祭りを特別展などで公開すると良い。

委員長 文化に携わった人の記憶を次の世代へつなげていくことも博物館に求められているのかもしれない。

#### ◆ホームページ・YouTube・SNSについて事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員長 それぞれの媒体の担当者はどうなっているのか。

事務局 とりまとめの担当はいるが、決まった媒体を割り当てているわけではなく、発信内容については各学芸員が話題を考え、それぞれが投稿するようにしている。学芸員同士で他分野のことも提案し、発信の調整をするなどうまく機能していると思う。

委員長 Twitterなどは速時性が特徴。数を発信しようとするとかかなり大変だと思うが、「今日、こんな鳥が飛んできました」という話題でも面白い。これからも続けていってほしい。

委員 「平塚学入門」が終了して、少し視聴数が減ったということだが、視聴者は目新しいものを求めているということなのだろう。「平塚学入門」は繰り返し見てもらいたいコンテンツなので、そのためにはどうしたらよいかが課題。具体的な提案はできないが、もっと見やすくするとか、入りやすくするとか考えていってほしい。

事務局 学芸員の中でもそういった認識を持っているが、具体的な方法はまだ決まっていない。コンテンツ自体の数もかなり多くなっているので、整理して見やすくすることも必要かと考えている。

委員 知りたいところにすぐにアクセスできる形になると良い。

委員 ワーキンググループの紹介などの動画を作ってみてはどうか。グループの蓄積を年1回の文化祭だけでなく、YouTubeでも発信できると面白い。

館長 「平塚学入門」などは学芸員自身が動画制作を行っているが、ワーキンググループのPR方法として、活動内容の紹介や、文化祭で出したような成果を会員がまとめた動画を5分程度で紹

介することは考えてみたい。

## 議題（２）令和５年度予定について

---

### ◆令和５年度当初予算について事務局杉山管理担当長が説明資料により説明。

（意見なし）

### ◆令和５年度事業計画について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員長 プラネタリウム特別投影の「ひらはくオールスターズ」にはどのような人が来られるのか。

事務局 平塚市博物館にかつて天文担当として勤務され、実際にプラネタリウムの投影をされていた方で、岩上さん、鷹さん、澤村さんと、過去に当館で協力者としてプラネタリウム投影などに携り、現在は他館で勤務されている方を予定している。

委員長 事前に告知をしておく、懐かしく思ってきてくれる人も多いのでは。

事務局 ４月の広報誌でアナウンスを予定している。また「あなたと博物館」でも紹介する。

## 議題（３）市民アンケートの結果報告について

---

### ◆市民アンケートの結果報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員長 1,000人から33%の回答があり、博物館に対して何らかの思いのある方がアンケートに答えてくれたと思う。回答の内容を見ると多種多様なニーズがあり、すごく良い情報になると思うが、これをどのように今後活用していくのかが気になる。

委員 いろいろな期待が挙がっているので、多様な意見をどのように拾い上げるかが大変だろう。博物館側で、核になるような意見や取り上げたい意見はあるか。

事務局 アンケートの分析は今後ということになるが、博物館の施設の部分と活動の部分とがあり、館全体で、これらの意見を共有し次の施設改修、展示更新、事業活動へとつなげていきたい。

館長 今回のアンケートは館内の利用者アンケートと市民郵送アンケートがあり、利用者アンケートは館事業に対して好意的な意見が多く、従来の活動をさらに進めていくうえで力にできる。一方で郵送アンケートは普段博物館に関心のない方や利用されない方からの意見も踏まえるべきという前提があり、そうした方々からのストレートな声も参考にできる部分はある。博物館の活動について、地域性を重視するか、あるいは文化財的な価値の高いものを見たいとか、東京国立博物館を目指すべきだというような、当館の理念とは反対に近い要望もある。全体的には平塚らしさ、地域らしさを求める声はかなりあり、来館して平塚が好きになった、愛着が持てるようになった、平塚に住みたくなるとか、地域に誇りを持てる博物館であってほしい、といった意見がかなり多く、今後の活動の指針の柱にしていかなければいけない部分と受け止めている。市民のニーズは多様なのだが、平塚らしさ、平塚の特徴、なぜ平塚は今こういう街になっているのかを過去に遡って現在に至り、未来を見据えて示すということが求められている

のではないかと、そうしたニーズが核になると考えている。

委員長 平塚市博物館は計画されたときから今言われたような地域性を重要視し、市民活動に力を入れてきた。そこは発展強化していくと良い。

委員 新しさというか、外部から見て変えたほうが良いところも少しはあると思うので、どれだけ意見をくみ取れるか大変だが、未来につなげていくための前向きな変化であってほしい。

#### 議題（４）その他

##### ◆事務連絡等

次回の協議会は令和５年５月２６日（金）に開催することとした。

閉会后、春期特別展「ゼロからの湘南地学入門」を野崎学芸員の案内で見学した。

- \* 平塚市博物館の設置及び管理等に関する条例施行規則第２３条に「協議会は、在任委員の過半数が出席しなければ議事を開き、議決することができない」とあるが、第２５条「この章に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める」を適用し、書面開催との併用により会議を成立させる案が出席委員に承認され、欠席した委員から提出された同意書により３名の同意が得られ、意見書が提出されたことにより、本会議を成立とさせたものである。
- 以下に、欠席した委員から提出された意見書の概要を記す。

#### ■ 議事に対する質疑・意見について

##### 議題（１）報告事項等について

##### ◆令和４年度秋期特別展の開催報告について

- ・ 漁撈民俗に関心があり、漁師から漁と星や月の動きに関連があることをよく聞いていた。特に夜間に漁を行うイカ釣り漁師からの話を記憶していた。研究報告ではそれらを取り上げることはあったが、博物館の展示として構成できるとは考えていなかった。民俗学の研究者からは非常に注目された展示であったと思う。内容的にもわかりやすく、楽しめる展示で、図録もよく編集されていると感じた。一般の方からの評価が高いこともたいへんうれしい。
- ・ Twitterにより関心を持ち来館したという感想があり、ネット（SNS）での広報は効果が大きいと感じる。内容については、プラネタリウムだけでは伝えきれない情報が実物とともに展示されていて素晴らしかった。

##### ◆第２回博物館文化祭の開催報告について

- ・ 市民の方々と共に活動している平塚市博物館の特色ある企画だと思う。来年度にも期待したい。
- ・ 来館者は常連の方々だけでなく、初めて博物館に来たという方も意外と多い、というのが

WGでの参加者としての印象である。もし可能ならもう少し長い会期で、内容も初心者向けを心がけた展示・発表ができると良い。

#### ◆ホームページ・YouTube・SNSについて

- ・ 近年はデジタル化・オンライン化が博物館にとってより重要性を持っている。さまざまな情報発信を続けるのは大変な作業だと思うが、充実した内容で、これからも頑張っていたきたい。質問からは外れるが、各出版物による情報発信も館の特色だと思う。
- ・ ホームページ、YouTube、Twitter が連携して、市民（お客様）がいま博物館で何が見られるのかすぐわかる工夫が更に求められるのではないか。

#### 議題（2）令和5年度予定について

##### ◆令和5年度当初予算について

- ・ 活動目的に沿った計画がなされていると思う。

##### ◆令和5年度事業計画について

- ・ 今年度同様、それぞれの企画が成功するよう期待する。

#### 議題（3）市民アンケートの結果報告について

- ・ 市民アンケートに対する反応（回答数）など、市民の博物館に対する期待を感じる。また、非常に好意的な評価は、日頃の館員の努力の賜だと思う。
- ・ プラネタリウムの観覧者の割合はもっと高いのではないか？来館者の意見・感想をもっといただけるような工夫があるといい。（「市長への手紙」の様に、「館長への手紙」ポストを作ってみるとか）

#### 議題（4）その他

- ・ 今年度は改めて、博物館の活動のすばらしさを認識した。

## 配 布 資 料

# 令和4年度 第3回平塚市博物館協議会 次第

令和5年3月23日（木）午前10時  
平塚市博物館科学教室

## 1 開会

## 2 議事

- (1) 報告事項等について
  - ・令和4年度秋期特別展
  - ・第22回博物館文化祭
  - ・ホームページ・YouTube・SNS
- (2) 令和5年度予定について
  - ・令和5年度当初予算について
  - ・令和5年度事業計画について
- (3) 市民アンケートの結果報告について
- (4) その他
  - ・事務連絡等

## 3 閉会

※会議終了後、春期特別展の展示をご案内いたします。

以 上



# 令和4(2022)年度秋期特別展「星になった民具たち」

## 開催報告

会 期 2022(令和4)年10月22日(土)～2023(令和5)年1月15日(日)  
(会期中開館日数:55日)  
休館日:月曜日、12月13日～1月3日

主 旨 星空や天文と聞くと星座を思い浮かべる人は多い。しかし、そこで想起されるのは西洋を起源とする星座であることがほとんどだ。学校の理科の授業で扱う内容も同様で、国際天文学連合が星座を公式にものとして定義している以上は、ある意味では当然と言える。一方、日本人も古より星に親しみ、星に名をつけ、生活の助けとしてきた。西洋由来の星座とは異なり、星ならば生活に密着した事物に喩えられ、見た目に素直な素朴な名がつけられてきた。これら日本固有の星座(とは言わないが)は近年あまり知る機会がなく、またその名を聞いてもそれがどのようなモノを表しているのか思い浮かべることが困難になってきている。

本展では、日本各地に伝えられてきた“日本版星座”を広く紹介するとともに、特に“民具”に注目してその実物を展示し、日本人が星空をどのように捉えてきたのか、その一端を垣間見た。同時に、天体にまつわる年中行事や信仰、日本の文化を解説し、日々の生活に星が深く根付いていたことを知ってもらう機会を提供した。

展 示 構 成 星空は絵巻物／日本と天文／星になった民具たち／星の名は／星と生きる／  
星空に暮らしを映して

入 館 者

	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1日
	大人	子ども	合計			
10月	924	278	1,202	8	23.1%	150
11月	2,602	1,236	3,838	26	32.2%	148
12月	1,182	280	1,462	10	19.2%	146
1月	1,138	414	1,552	11	26.7%	141
期間計	5,846	2,208	8,054	55	27.4%	146

( 参 考 )

R3 秋	6,906	2,877	9,783	64	29.4%	153
R3 春	5,450	1,781	7,231	44	24.6%	164
R4 夏	7,417	3,282	10,699	40	30.7%	267

関 連 行 事

特別展示解説

講 師:塚田健／福田麻友子

開催日:10月30日(日)、11月27日(日)、12月11日(日)、1月5日(木)

参加:大人29名、子ども2名

記念講演会「里に降りた星たちを訪ねて」

講師:澤村泰彦(当館元館長) 開催日:11月19日(土)

参加:大人26名、子ども0名

記念講演会「星の和名ーその収集のあゆみと多様性」

講師:北尾浩一(星の伝承研究室) 開催日:1月28日(土)※  
 参加:大人21名、子ども0名  
 ※講師の体調不良により延期して会期終了後に実施  
 体験学習「星になった民具を使ってみよう」  
 講師:福田麻友子(当館学芸員) 開催日:1月6日(金)  
 参加:大人4名、子ども9名

印刷物 図録「星になった民具たち」  
 A4判 128頁 カラー 1,500部 頒布価格 ¥500  
 開催期間内頒布部数:190部  
 (参考) R3秋:571部、R3春:202部、R4夏292部  
 ポスター B3判 カラー 500部  
 リーフレット A4判 カラー 5,000部

## アンケートの結果

回収枚数 91枚

回答者の住所 平塚市内 38名、平塚市外神奈川県内 19名、神奈川県外関東地方 22名  
 (n=89) 関東以外 10名

回答者性別 男 41名、女 47名、  
 (n=89)

回答者年齢 (n=84)	~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	8名	11名	14名	17名	19名	6名	9名

情報の入手先 広報ひらつか 20名、博物館のホームページ 17名、あなたと博物館 2名、  
 (複数回答可) SNS 22名、新聞等 4名、ポスター 12名、口コミ 3名、その他 18名  
 (n=98)

おもしろさ 興味ぶかさ (n=91)	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	58名	30名	3名	0名	0名
	63.7%	33.0%	3.3%	0.0%	0.0%

難しさ (n=90)	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	39名	35名	10名	6名	0名
	43.3%	38.9%	11.1%	6.7%	0%

総合評価 (n=128)	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	56名	29名	4名	0名	1名
	62.2%	32.2%	4.4%	0%	1.1%

ご意見・ご感想(抜粋)

- ・思っていたより内容が盛りだくさんで面白かったです。民具の説明に重点が置かれていて、それはそれでよいのですが、星座に詳しくないので、どの星をさしているのかがもっとわかりやすかったらありがたかったです。(50代)
- ・博物館の方が細かく解説してくださりとても面白かったです。ひとつの星座にほかの名があったりいろいろと興味深いことが多く勉強になりました。(中学生)
- ・細かい説明でためになる知識が豊富でおもしろかったです！(中学生)
- ・民具自体がふだんのくらしの中で使われなくなったものも多くあり(今もつかっているものもありますが)どんな用途でどのように使ったものかの解説がしっかりしていてよかったです。(40代)
- ・わからないと思ったところにしっかりとわかりやすく補足が書いてあってよかった。(中学生)
- ・星座の呼び方がいろいろあって面白かった。(中学生)
- ・すべての漢字にフリガナがあると子供も読めるので検討よろしくお願いします。(40代)
- ・自分にはむずかしい分野がいっぱいですが、民具(農具や漁具)が星になったと考えるロマンチックというかなんて素敵と思いました。ノート鉛筆を用意して1つ1つ勉強しながら見たいと思いました。(80代)
- ・民芸と星座の規格(マ)がおもしろいな…と思い、身に(マ)来ました。星座に和名があったことを初めて知りました。文字が小さく良くみえないところは残念でした。(50代)
- ・文理(文→民具、理→星)の一緒になったたのしい展示でした。(30代)
- ・民具の見せ方にこんな方法があるのかと感心してとても興味深く見たい展示でした。(40代)
- ・着眼点が面白いです。民具にあてた星座を図に表すともっとわかりやすかったかもしれません。(40代)
- ・文字が小さくて読み切れないものがあつたのが残念でした。でもおもしろく拝見いたしました。(50代)
- ・想像以上に面白かったです！星の話だけでなく、様々な歴史、生活等の説明があり、特に楽しかったです！(20代)
- ・前からやっていたのは知っていたのですが、やっと来ました。展示の面白さ、温かさに触れて、博物館っていいな、と感じました。私物の星グッズとか楽しかったです。(40代)
- ・確かに日本古来の視点で星座がどのように見られていたか知らなかったのも、とても面白く思いました。(30代)
- ・星の和名に興味があつたのでおもしろかったです。(30代)
- ・ツイッターでバズっていたので見に来ました。星に関するロマンや昔の人が同(マ)星をとらえていたのかわかりやすく展示されており、来てよかったです。図録を買っていきます。(20代)
- ・多くの展示物を集めるのは大変だったと思われます。説明もわかりやすく、面白かったです。(20代)
- ・ツイッターで黒織部(@krooribe)産(マ)の星座や星の和名とその元になった品を紹介する、民具の見せ方にこんな手法があるのかと感心しっぱなしだったと投稿されていたのに興味を持ち来館しました。まさにその通りの展示で大変面白かったです。家に積読になっている野尻抱影氏の本を読みたくまりました。(40代)
- ・とても興味深くみるのができて楽しめました。実物を目の前に星座や星の名前をみると様々な和の名前にも納得感があつてもっと知りたくまりました。ありがとうございました。(40代)
- ・プラネタリウムと合わせて見れたのがとてもよかったです！夜空解説の方の声や話し方もすごく良くてまた聴きに観に行きたいと思いました。(40代)
- ・様々な博物館で民具展示がありますが、こんなふうに関連付けた展示は初めてでとてもおもしろかったです。民具をこんなにじっくり見たのは、人生はじめてかもしれません。

また、パネルもとても分かりやすく、また、分野も多岐にわたり、展示が完成するまでは大変だったと思いますが、企画、準備をきっと楽しんでやってらっしゃったのではと想像しました。分野横断の企画の面白さ、少しヒントをいただいたように思います。最終日、何とか来館できてよかったです。この後のプラネタリウムも楽しみです。(40代)

・星の和名は知らなかったのととても豊かになりました。久しぶりのプラネもこれたので、これからは定期的に来たいと思います。(50代)

・馬鋤とか臼とか倉に入っていたけど使い道なくてみんな捨ててしまった思い出…。人の生活とかかわっている星の話は身近になって良いですね。こういうコトこそ伝えていただきたい。(20代)

・身近なものや風習に先人の目線を重ねたり歴史や宗教・習俗を学ぶ事が出来ました。図録もすごいボリュームです。有難う御座居ます。(30代)

・今はほとんど夜空も見あげなくなっていることに気づかされました。昔は生活の中に星が生きていたのですね。ありがとうございました。(50代)

・星の名前はギリシャ神話が多いが、日本でも使っていた道具が名前になっていたことを初めて知りました。(小学生)

・Twitterで本展をご覧になった方のツイートを拝見し、慌てて訪れました。(今日以外チャンスがなさそうなので)以前NHKBSPのコズミックフロント(コズミックフロントNEXT)で和名の星座について放送してたのを拝見し、以来気になっていたのですが忙しさにかまけて調べるのを怠っていたことを思い出しました。農器具などほとんど知識がなかったのでとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。図録が安くてビックリです。(50代)

・星と民具という通常では関係性がないと思われがちなことを星の名前を通して結びつける企画はとても新鮮でした。展示のコメントもわかりやすく親しみのもてるもので良かったです。(60代)

・あたりまえにある見ている星の日本名がこんなにたくさん名づけられていたとは知りませんでした。とても面白かったです。他の県でもそうですが、七夕で子どもが団子をぬすんで食べる風習がとても不思議です。(30代)

・日本にフォーカスした星のお話はあまり聞いたことがないので、新鮮でおもしろかったです。(20代)

・昔の人々の想像力を垣間見るようで、大変興味深く見学しました。今の私達には(例えば)オリオン座は「オリオン座」としてしか認識されず、いわば記号として固定化され無意識に定着してしまっていますが、そうでなかった頃の人々が星になにを見出していたのか考えさせられる展示でした。また総合博物館としての平塚市博物館の強みが活かされた展示であると思いました。(30代)

・キャプションが分かりやすく面白く書かれていて楽しめました。西洋の星座しか知らなかったためになりました(40代)

・天文と民具(民俗学)をコラボさせた美が独創的で素晴らしいです。長年蓄積してきた星の研究と民具収集が活かされています。天文は門外漢なので勉強になりました。(40代)

・民具をたくさん見られる面白さと、意外な来歴のおもしろさ、それが星につながる意外さ、星と暦との強い結びつきを認識させられ、興味深かったです。(50代)

・とても興味深い展示、ありがとうございました。ですが、「良くない」とした理由が一点あります。日本の文化は中国・朝鮮伝来という歴史の誤りがあり、国体や文化を輸入しているとすする自虐的歴史観を元にされているからです。縄文文明の遺跡から文字や高度な暮らしの知恵があったことは古代史の中で事実として認められている所です。GHQによる「ウォーギルトインフォメーション」プロパガンダから抜け出し、日本の歴史の真実を伝え、誇りを取り戻せるような展示をして頂きたいです。

「第 22 回博物館文化祭－ワーキンググループ活動 展示・報告会・実演－」開催報告

- 1) 会 期 令和 5 年 2 月 4 日 (土) ～19 日(日)
- 2) 展示会場 平塚市博物館 特別展示室
- 3) 主 催 平塚市博物館
- 4) 主 旨 博物館で活動する会員制ワーキンググループが、活動成果の発表を通じて相互の交流を深めるとともに、市民に広くその活動内容を紹介することを目的に開催。

5) 参加ワーキンググループ

古代生活実験室 天体観察会 展示解説ボランティアの会 聞き書きの会  
石仏を調べる会 民俗探訪会 祭りばやし研究会 (実演のみ) 生き物ズームプロジェクト

(以上 8 団体、前回より 1 団体増)

- 6) 運営状況 参加ワーキンググループから選出された実行委員で実行委員会を組織し準備と運営を行った。開催告知用ポスターは、各ワーキンググループにデザインを募った結果、3 種類のデザイン (石仏を調べる会、天体観察会、民俗探訪会が作成) が集まり、市内カラーコピー機で計 400 部印刷した。ポスターは市内の広報掲示板への掲示をはじめ、市内の小中学校と公民館、市外の図書館・博物館へ送付し行事の周知に努めた。パンフレットは A5 縦判 12 頁とし、白黒印刷で 700 部印刷して博物館受付や特別展示室で配布するとともに、ポスターの発送時に同封して行事の周知に努めた。

展示は、各ワーキンググループの活動成果を実物資料や写真、ポスター形式の説明で紹介した。展示参加グループは 7 団体 (前回 6 団体) だった。展示会場に質問掲示板を設置した。観覧者が展示内容への質問や意見を質問用紙に記入してホワイトボードへ掲示し、それをワーキンググループ会員または担当学芸員が回答して再掲示するというもので、質問と回答を全体で共有することを主な狙いとした。会期中に 8 件 (前回 6 件) の質問用紙が掲示され、回答は Twitter でも行った。

活動報告会は、4 グループが行い 39 名が聴講に参加した。実演は 2 件 (前回 2 件) で、祭りばやし研究会の「古民家でお囃子を聴こう！」は 20 名が観賞した。天体観察会の「太陽黒点を見よう」は、午前と午後の 2 回行い、延べ 73 名 (内子ども 29 名) が参加した。

会期中の入館者は 2,472 人 (前回 1,717 人)、一日平均 176.6 人 (同 123 人) だった【表 1】。

【表1】過去8年間の文化祭入館者数

	大人	こども	計	日数	こどもの割合	1日平均	参加団体数
R4年度(2023 2/4~2/19)	1,804人	668人	2,472人	14日	27.0%	176.6人	8
R3年度(2022 2/5~2/20)	1,396人	321人	1,717人	14日	18.6%	122.6人	7
R2年度 開催中止	-	-	-	-	-	-	-
R1年度(2020 2/8~2/24)	2,269人	410人	2,679人	15日	15.3%	178.6人	10
29年度(2018 2/4~2/18)	1,549人	485人	2,034人	14日	23.8%	145.3人	12
28年度(2017 1/14~1/22)	1,421人	670人	2,091人	8日	32.0%	261.3人	12
27年度(2016 2/6~2/21)	2,279人	1,036人	3,315人	14日	31.3%	237.0人	12
26年度(2015 2/1~2/15)	1,697人	656人	2,353人	13日	27.8%	181.0人	11

7) 展示ワーキンググループとタイトル

ワーキンググループ名	展示タイトル
展示解説ボランティアの会	「トビラの中の小さなヒラツカパート3」
聞き書きの会	「平塚に暮らして」
天体観察会	「2022年度天体観察会の取り組み」
石仏を調べる会	「平塚の石仏めぐり MAP No.12~18」
民俗探訪会	「古道を歩く」
古代生活実験室	「実験考古学—とにかくやってみた—」
生き物ズームプロジェクト	「見つけよう！自然のおもしろさ」

8) 活動報告会

2月12日(日) 13時30分~15時40分

会場：講堂 参加者39人(前回22人)

時間	発表ワーキンググループ	発表タイトル	発表者
13:30		開会あいさつ	館長 浜野達也
13:35	石仏を調べる会	統計にみる平塚の庚申塔	田幸 昇
14:05	聞き書きの会	わたしが聞き書きを始めたわけ	露木 正巳 杉園佐智子
14:30	休憩		

14:45	生き物ズームプロジェクト	総合公園の自然観察	鈴木 豊
15:15	天体観察会	皆既月食&天王星食観察報告	永井 和男 齊藤 啓子

9) 実演 当日整理券制 参加者 93人 (前は69人)

ワーキンググループ名	タイトル	日時	会場	人数
祭りばやし研究会	古民家でお囃子を聴こう!	2月11日(土) 15:30~16:00	相模の家	20人
天体観察会	太陽黒点を見よう	2月18日(日) 10:00~10:30 13:00~13:30	屋上	73人

10) 印刷物

・パンフレット:A5判12頁 庁内印刷 700部 ・ポスター:A3判 庁内カラーコピー 400部

11) 質問掲示板

掲示数:8件(前回は6件)

- ・山北町から来た者です。平塚周辺の地名に疎く、糟屋などが読めなかったです。ふりがなをふって頂けると助かります。
- ・石がたくさんあってきょうみをもちました。とくに、黒曜石にきょうみをもちました。すごくベッキょうになりました。
- ・トビラの中の詳しい解説等、大変面白くためになるものが多くありました。このような解説などを冊子にまとめ、来館者がみられるようにしていただけるとありがたいです。
- ・今回の文化祭、初めて来たのですがとても面白かったです!小さな子供と来たので、なかなかじっくり読めずくやしい思いが残ったので、今回の展示をまた何かの形で見たいです。冊子等あるとうれしいです。
- ・タブの花の写真がありますが、これはネズミモチでは?
- ・毎回展示楽しみにしています。本などネットで購入出来たらうれしい。いつか活動参加してみたいです。
- ・何か特化したものを調べる会、というのではなく「聞き書きの会」とてもステキだなあと感じました。42年間、平塚に住んでいますが、昔の写真や話が聞けること、なかなかありません。とてもおもしろかったです。
- ・100年以上操業店舗について、場所の移転を伴いますが、若葉寿司、横田書店も対象になると思います。あと今年で100年を迎えるのは中秋蒲鉾店です。

12) 来場者アンケート結果：

○回収枚数 9枚（前回16枚）

○記入者の住所 平塚市内9人、平塚市外県内0人、県外関東地方0人、関東地方以外0人

○記入者の性別 男性6人、女性2人、未記入1人

○開催情報の入手（\*複数回答有）

広報 ひらつか	博物館 HP	あなたと 博物館	新聞等	ポスター	口コミ	SNS	知らな かった	その他
4人	0人	1人	0人	4人	0人	1人	1人	2人

○満足度

興味深い	やや興味深い	ふつう	ややつまらない	つまらない
4人	4人	1人	0人	0人

○むずかしさ

とてもわかりやすい	わかりやすい	ふつう	ややむずかしい	とてもむずかしい
2人	5人	2人	0人	0人

○総合評価

とても良い	良い	ふつう	もう少し	良くない
1人	7人	1人	0人	0人

○年代

～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
0人	0人	2人	2人	2人	2人	1人	0人

<感想・ご意見>

- ・子供が一緒なのでうるさくなってしまい申し訳ないです。子供連れでも、大変親切にしてくださいありがとうございました。
- ・石仏系、特におもしろかったです！
- ・すばらしい。楽しそう。
- ・とてもいい
- ・「聞き書きの会」の展示内容がとても興味深かったです
- ・ワーキンググループの活動が赤裸々に伝わってきた。

<調べたい・知りたいと思っていること>

- ・平塚の歴史上の有名な人とのつながりや神社、お寺さん等についてもっと知りたいです。それから、平塚の遊郭についてももっと知りたいです。
- ・寺や神社についてもっとしりたいです。
- ・湧き水めぐり



●情報発信（ホームページと YouTube・SNS）

表 1 平塚市博物館ホームページ訪問数

年度	訪問数												総訪問数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	25,341	28,945	26,819	30,766	34,800	28,219	23,259	19,940	18,065	21,994	18,155	18,921	295,223
2018	20,475	25,132	29,789	32,176	33,089	21,153	23,105	18,716	17,535	20,503	17,944	22,199	281,816
2019	25,341	28,945	20,781	25,587	30,663	21,877	22,078	27,657	22,303	23,149	20,375	22,326	291,082
2020	20,780	24,312	21,356	26,149	30,037	28,219	23,885	20,902	22,593	23,041	25,531	24,918	291,723
2021	25,188	32,612	30,572	32,833	28,436	27,063	27,293	27,166	25,422	13,412	20,205	22,316	323,563
2022	23,427	28,031	27,578	29,295	35,968	31,919	31,217	33,307	26,848	28,430	25,681		321,701

※（斜線はデータ消失のため、該当データを除く 2015～20 の平均値で補完） 4月末現在

表 2 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube 視聴回数

年度	視聴数（2018年3月まで 66,450）												総視聴数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2018	12,521	834	603	2,159	3,615	555	1,615	3,047	1,527	2,176	615	830	30,097
2019	669	1,584	442	4,008	1,258	457	525	2,819	1,594	1,077	695	1,533	16,661
2020	3,039	6,693	13,272	5,959	3,710	2,110	1,656	1,608	1,549	1,029	1,071	2,756	44,452
2021	3,338	3,637	3,309	5,151	4,105	3,914	3,026	2,622	2,583	7,783	8,596	12,156	60,220
2022	9,288	9,957	9,449	7,976	9,550	7,259	6,133	5,372	4,973	6,111	6,805		82,873

開始（2011/1/9）から 2022 年 10 月末までの累計 277,481

表 3 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube チャンネル登録者数

年度	チャンネル登録者数（2018年3月まで 49）												総数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2018	6	1	4	3	4	0	1	8	2	3	1	3	36
2019	2	2	1	-1	0	2	-1	3	1	1	2	3	15
2020	54	102	76	21	17	5	6	9	3	3	8	38	342
2021	53	39	40	78	68	34	22	16	15	106	112	248	831
2022	105	97	79	60	75	38	45	32	17	51	40		639

開始（2011/1/9）から 2022 年 10 月末までの累計 1,772 人

表 4 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube の毎月の視聴回数と累計チャンネル登録者数

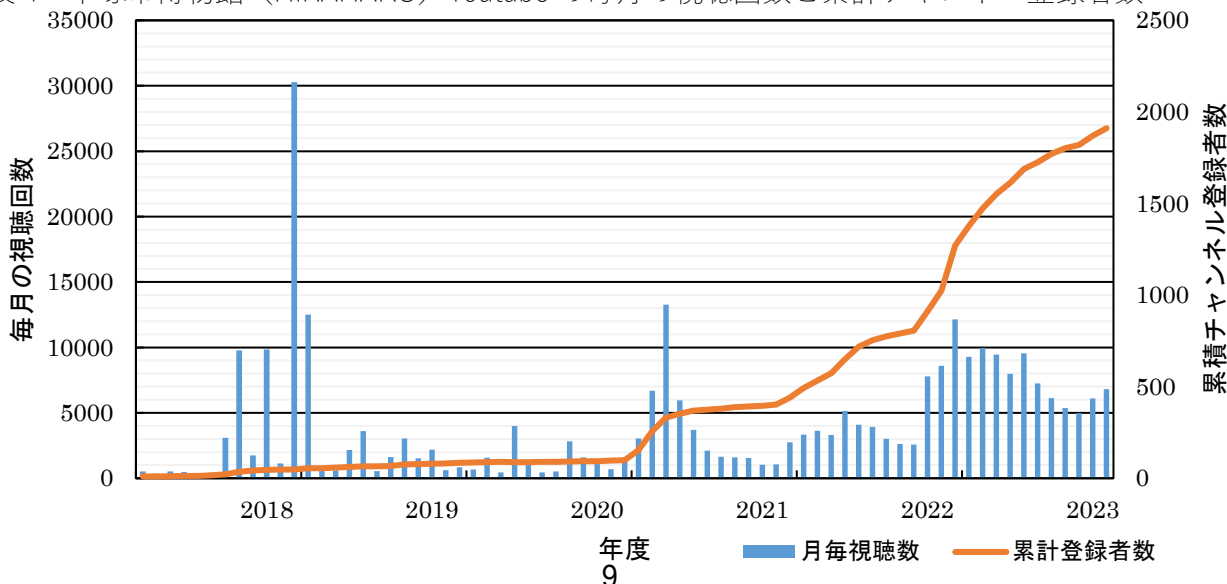
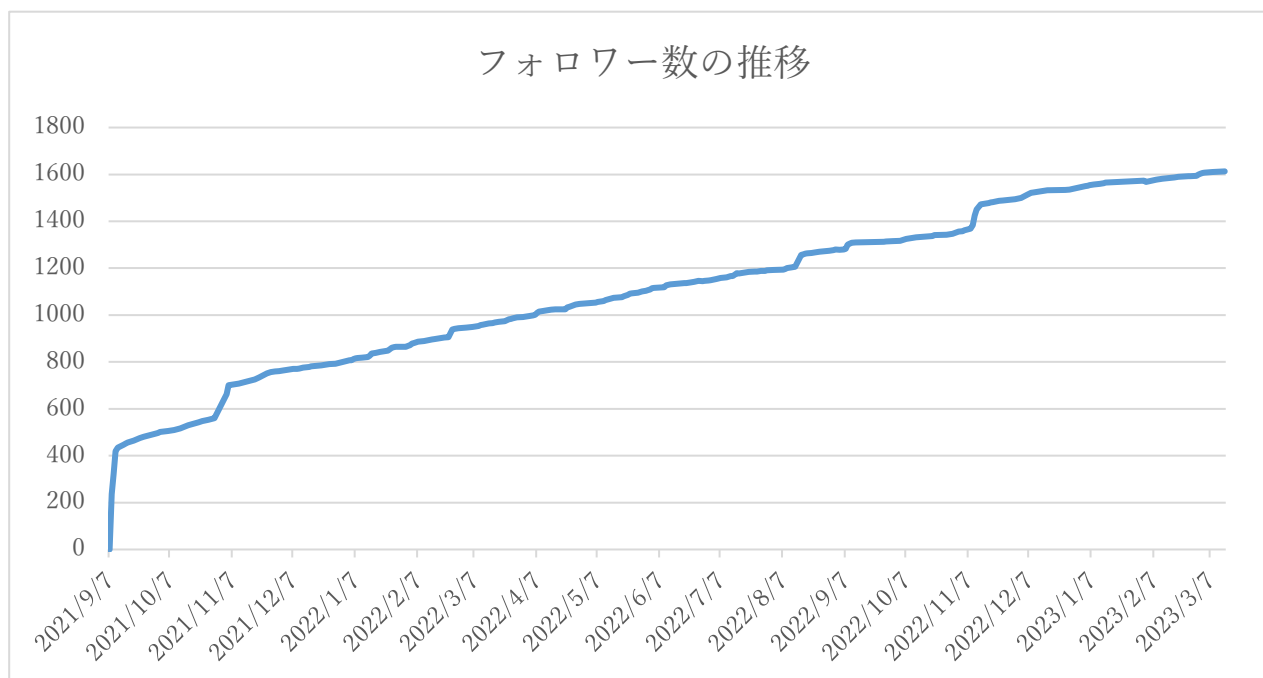


表5 「おうちで楽しむはくぶつかん」(HIRAHAKU) Youtube 視聴回数ランキング (3/7 現在)

タイトル	公開日	再生回数	前回 順位
1 おうちでプラネタリウム (藤井大地 学芸員)	2020/4/18	14,382	1
2 鎌倉殿と平塚の七人 第1回_真田与一義忠	2022/1/23	7,169	2
3 おうちでプラネタリウム (塚田健 学芸員)	2020/4/18	4,961	3
4 5分でわかる平塚学入門「中原御殿」	2021/3/26	4,780	5
5 鎌倉殿と平塚の七人 第2回_岡崎四郎義実	2022/2/20	4,510	4
6 5分でわかる平塚学入門「伊勢原台地と伊勢原断層」	2022/1/14	3,388	7
7 5分でわかる平塚学入門「平塚はプレートの境界だった」	2021/5/21	3,125	8
8 5分でわかる平塚学入門「どっこい神輿と甚句」	2022/7/29	2,944	9
9 2019年5月25日夜に平塚から見たスターリンク衛星	2019/5/25	2,574	6
10 5分でわかる平塚学入門「古墳を作った大豪族」	2021/3/26	2,636	—

表6 平塚市博物館 (HIRAHAKU\_) Twitter

2021/9/7 新規開設。令和4年度は3/10までに664ツイート発信。フォロワー数1,613人。



### 平塚市 (公式) LINE

2021/7/26 から配信開始。概ね週1回投稿で、令和4年度は65回(3/10現在)の投稿を行った。運用開始からの総投稿数は106回。登録者数20,826人(16,563人)

## 令和5年度 社会教育部予算構成

	(単位:千円) 令和4年度当初	(単位:千円) 令和5年度当初	(単位:千円) 前年度比
一般会計当初予算 合計	88,090,000	87,610,000	-480,000
教育委員会予算(教育費) 合計	7,949,473	9,103,965	1,154,492
<b>社会教育部(職員給与費除く) 計</b>	<b>1,515,118</b>	<b>1,721,726</b>	<b>206,608</b>

<b>社会教育費(職員給与費除く)</b>	<b>1,360,163</b>	<b>1,573,551</b>	<b>213,388</b>
社会教育課・・・社会教育総務費	50,715	54,835	4,120
中央公民館・・・公民館費	708,816	930,679	221,863
中央図書館・・・図書館費	348,439	328,663	-19,776
博物館・・・博物館費	87,733	88,872	1,139
・・・市史編さん費	11,010	3,465	-7,545
美術館・・・美術館費	153,450	167,037	13,587

<b>保健体育費(職員給与費除く)</b>	<b>154,955</b>	<b>148,175</b>	<b>-6,780</b>
スポーツ課・・・保健体育総務費	54,084	45,187	-8,897
・・・体育施設費	100,871	102,988	2,117

## 令和5年度各事業の概要と予算

事業名	事業概要	予算 (単位:千円)
1 博物館特別展事業	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。令和5年度は、「茶色ばかりじゃないんだぞ!～カラフルな考古資料たち～」など3回の特別展を開催します。	5,362
2 博物館教育普及活動推進事業	市民の生涯学習に役立てるため、体験学習、各種の講座、野外教育活動、プラネタリウム投影等を実施します。	32,403
3 博物館協議会事業	博物館の運営全般にわたる諮問及び協議を行うため、博物館協議会を開催します。	170
4 博物館管理事業	博物館の安全かつ快適な施設環境を保持するため、施設の適切な維持管理を行います。令和5年度は、収蔵庫系統空調機オーバーホールなどの修繕を行います。	49,272
5 博物館情報システム事業	市民に地域への関心を深めてもらうため、博物館が集めた平塚及び相模川流域に関する情報を広くインターネットで発信します。	1,665
6 市史編さん事業	本市の歴史的発展過程を振り返り、郷土に対する市民の関心を高めるため、平塚市史を編さんします。	3,465
<b>総計</b>		<b>92,337</b>

## 博物館 令和5年度歳出予算一覧

### 博物館特別展事業

費目	主な支出内容	R4予算	R5予算	前年度差
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	486	486	0
旅費	調査・資料収集出張旅費	54	54	0
消耗品費	特別展示用消耗品	640	640	0
印刷製本費	図録等印刷代	3,258	3,258	0
通信運搬費	資料等運搬費	88	88	0
委託料	特別展用看板・パネル等製作委託料	780	780	0
原材料費	展示等作成用原材料	56	56	0
事業費計		5,362	5,362	0

### 博物館教育普及活動推進事業

費目	主な支出内容	R4予算	R5予算	前年度差
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	2,361	2,375	14
旅費	調査・資料収集出張旅費	269	262	-7
消耗品費	調査研究・展示・プラネ・OA機器消耗品等	1,049	1,051	2
印刷製本費	ポスター・出版物、写真DP等	1,790	1,307	-483
物品修繕料	展示機器・プラネタリウム機器等修繕料	2,428	2,790	362
通信運搬費	寄贈資料等運搬費、アンケート調査郵送費	212	44	-168
委託料	資料等保存処理委託等(金属器・D52・剥製等)	1,123	900	-223
使用料賃借料	プラネタリウム設備、OA機器リース料等	23,337	23,237	-100
原材料費	展示等作成用原材料	49	49	0
備品購入費	研究活動用機材等	300	300	0
負担金	博物館協会等年会費等	88	88	0
事業費計		33,006	32,403	-603

### 博物館協議会事業

費目	主な支出内容	R4予算	R5予算	前年度差
報酬	博物館協議会委員報酬	170	170	0
事業費計		170	170	0

### 博物館管理事業

費目	主な支出内容	R4予算	R5予算	前年度差
報酬	会計年度任用職員	715	741	26
旅費	会計年度任用職員通勤手当	39	39	0
消耗品費	管理用事務用品等	428	506	78
光熱水費	電気・ガス・水道代等	7,722	10,319	2,597
物品修繕料	備品等修繕料	300	300	0
施設修繕料	設備等緊急支出用修繕料等	6,513	3,580	-2,933
通信運搬費	電話・FAX代等	335	344	9
手数料	各種設備法定検査費用(水質・煤煙)	48	55	7
保険料	建物総合損害共済分担金	52	66	14
委託料	施設管理委託料等	30,227	32,053	1,826
使用料賃借料	施設リース料(城島プレハブ)等	1,151	1,269	118
事業費計		47,530	49,272	1,742

### 博物館情報システム事業

費目	主な支出内容	R4予算	R5予算	前年度差
報償費	情報機器入力作業協力者謝礼	168	168	0
消耗品費	WEBシステム用消耗品	34	36	2
委託料	レンタルサーバ運用費(30費目変更)	121	119	-2
使用料賃借料	WEB関連機器リース料	1,342	1,342	0
事業費計		1,665	1,665	0

### 市史編さん事業

費目	主な支出内容	R4予算	R5予算	前年度差
報酬	会計年度任用職員報酬	2,144	1,112	-1,032
職員手当等	会計年度任用職員期末手当	429	223	-206
報償費	執筆協力者・資料整理協力者謝礼等	2,482	1,561	-921
旅費	会計年度任用職員通勤手当	58	58	0
消耗品費	事務用品等	166	170	4
印刷製本費	資料等印刷代	5,602	100	-5,502
通信運搬費	図書館施設電話代	55	167	112
委託料	OA機器保守委託料(複合機)	74	74	0
負担金	県歴史資料取扱機関連絡協議会年会費	0	0	0
事業費計		11,010	3,465	-7,545

展 示

夏期特別展「茶色ばかりじゃないんだぞ! ~カラフルな考古資料たち~」では、色をテーマに発掘調査で発見される「モノ」が多彩な色彩に彩られていたことを紹介します。秋期特別展「天象儀(プラネタリウム)100年の軌跡」では、現行のプラネタリウムが開発されて100年となることから、その進化の歴史や天文教育に果たした役割、そして平塚市博物館の歴代投影機も紹介します。「第23回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を展示発表します。春期特別展「(仮称)相模の古道を行く」は、歴史・考古・民俗の視点を合わせた人文分野合同の展示で紹介し

ます。  
1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野のテーマ展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展や博物館学芸員実習生による企画展などを開催します。

特別展	春期特別展「ゼロからの湘南地学入門」	2023	3月 18日 ~	5月 7日
	夏期特別展「茶色ばかりじゃないんだぞ! ~カラフルな考古資料たち~」	2023	7月 21日 ~	9月 3日
	秋期特別展「天象儀(プラネタリウム)100年の軌跡」	2023	10月 21日 ~	1月 9日
	第23回博物館文化祭 -ワーキンググループ展示・活動報告会・実演-	2024	2月 上旬 ~	2月 中旬
	春期特別展 (仮)「相模の古道を行く」展(人文合同)	2024	3月 中旬 ~	5月 上旬

寄贈品 コーナー	民俗 「#竹と暮らし」	2023	3月 2日 ~	4月 2日
	自然系 「新着資料展 -自然分野-		4月 6日 ~	5月 7日
	人文系 「新着資料展 -人文分野-		5月 11日 ~	6月 4日
	歴史 「平塚空襲」展		6月 17日 ~	7月 23日
	生物 内容未定		7月 27日 ~	8月 27日
	地質 関東大震災100年関連展示		8月 31日 ~	10月 15日
	歴史 家康		10月 19日 ~	12月 10日
	民俗 (仮)「むかしの暮らし」		12月 14日 ~	1月 21日
	考古 (仮)「大磯丘陵の古道」	2024	1月 25日 ~	2月 25日
	天文 (仮)「スマホで楽しむ天文学」		3月 1日 ~	4月 7日

情報 コーナー	生物 生きもの調査から見る生物多様性(環境保全課展示)	2023	1月 14日 ~	5月 14日
	考古 (仮)「新指定文化財展」(社会教育課展示)		5月 20日 ~	6月 4日
	地質 ポスト特別展「ゼロからの湘南地学入門」		6月 17日 ~	9月 3日
	博物館実習展示		9月 15日 ~	9月 28日
	天文 秋期特別展関連展示「日本のプラネタリウム大集合」		10月 上旬 ~	終期 未定
	以下、内容未定			

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に行います。8月は金曜日にも、幼児向け番組を投影します。コロナ禍以前に戻し1日2回、70名の定員で実施します。特別投影等も実施する予定です。また、幼児団体投影・学習投影は市外の園・学校にも対象を拡大し、予約制で水・木・金曜日午前に実施します。

一般投影	一般向け投影 母なる星・太陽	2023	3月 4日 ~	5月 7日
	一般向け投影 見たか?家康 ~家康の生涯を彩る天変		5月 13日 ~	7月 16日
	一般向け投影 流星群を見よう		7月 22日 ~	8月 27日
	一般向け投影 国際宇宙ステーションに潜入!		9月 2日 ~	10月 29日
	一般向け投影 (仮)プラネタリウム大解剖		11月 4日 ~	1月 7日
	一般向け投影 2024年の天文現象	2024	1月 13日 ~	2月 25日
	一般向け投影 見えないブラックホールを見る		3月 2日 ~	5月 5日
	幼児向け投影 サンとムーン		4月 8日 ~	3月 30日
特別投影	星空散歩 (偶数月、月初の土または日、6回)	2023	4月 2日 ~	2月 4日
	「ひらはくオールスターズ」(奇数月、月初の土または日、6回)		5月 6日 ~	3月 上旬
	プラネタリウムを操作してみよう		未定	
コンサート	シアトリカル・プラネタリウム (雑貨団、1回)		8月 予定	
	プラネタリウム・コンサート		未定	

各種普及行事

申込制 行事	考古	夏イベント	2023 7月 29日	
		考古学入門講座 (3回)	10月、11月、12月の第4土曜日	
	歴史	郷土史入門講座 (3回)	2024 1月・2月・3月の日曜	
		民俗	石仏めぐり	2024 10月 29日
			体験学習「お飾りをつくろう」	12月 24日
			「館長の民俗学入門」講座	6月 3日 ~ 2月 25日
		体験講座	8月 18日	
	地質	自然観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門」	6月 3日 ・ 11月 26日	
		体験学習「サメの歯化石のレプリカをつくろう」(年間3回程度)	7月 27日 ・ 8月 3日	
		地球科学入門講座(3回連続)	2024 1月 下旬 ~ 3月 下旬	
	生物	自然教室 (7回)	4月 15日 ~ 3月 9日	
		きのこの観察会	2023 10月 19日	
	天文	星を見る会 (10回)	4月 28日 ~ 1月 18日	
		天文学入門講座「電磁波と天文学」(6回)	2023 4月 22日 ~ 9月 30日	
		最新天文学講座 (3回程度)	5月 14日 ~	
		ピンホールカメラを作ろう	8月	
		不思議な板で万華鏡を作ろう (当日整理券)	7月 下旬 の 平日	
		火薬ロケットを作ろう	8月	
		プラネタリウムを作ろう	8月	
	総合	こどもフェスタ	4月 29日 ・ 30日	
平塚学講座		秋		

自由参加	民俗	ろばたばなし	月1回 日曜日
		年中行事の話	ろばたばなしと同日

会員制 行事	考古	平塚の古代を学ぶ会	毎月1回水曜日
		古代生活実験室	毎月1回木曜日
		東国史跡踏査団	毎月1回土曜日
	歴史	古文書講読会	毎週金曜日
		裏打ちの会	毎月1回水曜日
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日
	民俗	石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日
		民俗探訪会	毎月第三水曜日
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日
		聞き書きの会	毎月第二火曜日
	地質	地球科学野外ゼミ (野外6回、室内5回)	毎月1回_土or日曜日
	生物	生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日
	天文	天体観察会	毎月1~2回土・日曜日
	総合	展示解説ボランティアの会	毎月1・3木曜日

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2023 6月 6日 ~ 6月 16日
博物館実習	2023 9月 6日 ~ 9月 14日

\*新型コロナウイルスの感染状況等により展示や行事の内容・日時が断りなく変更される場合がありますので、最新の「博物館ホームページ」「広報ひらつか」等でご確認ください。

## 館内利用者アンケート調査集計結果

- 1 目的 博物館利用者が考える博物館に対するニーズや意見を把握する
- 2 調査方法 講座や行事に参加した市民に直接配布
- 3 調査期間 令和3年12月18日から令和4年2月20日まで
- 4 対象 平塚博物館の講座や行事に参加した男女121名(市街在住者含む)
- 5 回収数 121件

### 回答者の属性

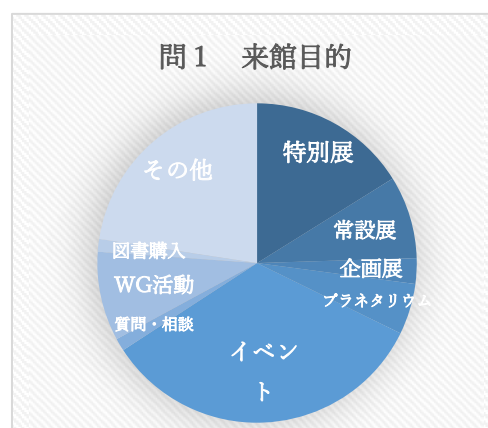
居住地:市内・8割、県内市外・2割(講座や行事は、申込者多数の場合、市内在住者を優先としているため、市内の比率が高い)

年齢:60代以上が7割。(これも申込制の行事のため偏りがあると思われるが、)

性別:男女比としてはほぼ同数。

### 問1 来館目的

特別展	25	16.1%
常設展	13	8.4%
企画展	4	2.6%
プラネタリウム	8	5.2%
イベント	52	33.5%
質問・相談	2	4.8%
WG活動	14	9.0%
図書購入	2	1.3%
その他	35	22.6%
	155	



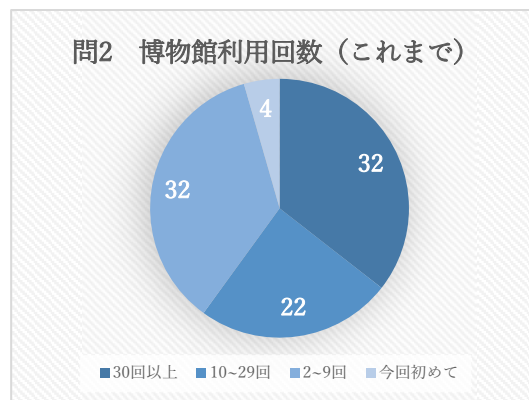
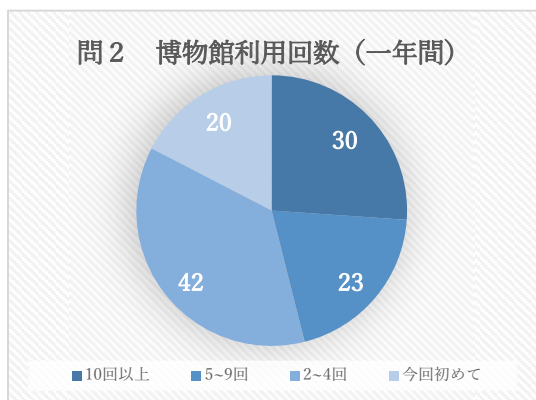
### その他意見

・記念講演会 ・講座 ・講座参加 ・平塚学入門 ・浮世絵を見る

### 問2 博物館利用回数(一年間)・(これまで)

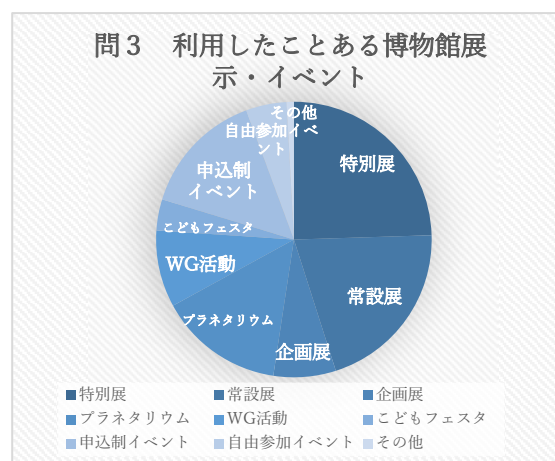
一年間			これまで		
10回以上	30	26.1%	30回以上	32	35.6%
5~9回	23	20.0%	10~29回	22	24.4%
2~4回	42	36.5%	2~9回	32	35.6%
今回初めて	20	17.4%	今回初めて	4	4.4%
	115			90	





### 問3 利用したことある博物館展示・イベント

特別展	87	24.5%
常設展	73	20.6%
企画展	26	7.3%
プラネタリウム	52	14.6%
WG活動	32	9.0%
こどもフェスタ	13	3.7%
申込制イベント	52	14.6%
自由参加イベント	17	18.9%
その他	3	0.8%
	355	



### 問4 印象に残ったもの

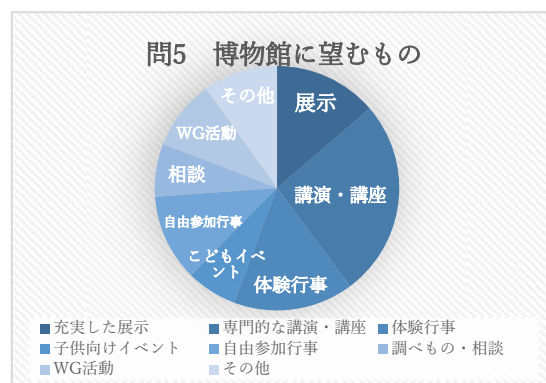
- ・本を読んでいて、岩石の実物が見たいと思ったときに博物館で確認できるのでうれしい
- ・郷土を学べる企画が多く、貴重な内容です。
- ・蛍光灯がガラスケースや展示物の上部に反射して見にくく、煩雑なので改善して欲しい
- ・むづかしいですが…一度来ると余り変わった展示がない。変わりばえしない
- ・たまにですが、来たおりににはいつも楽しく、おもしろく見せていただいています。展示の性質上しかたないのかもしれませんが、空気がこもってる感じがします。
- ・四角い箱がならんでいるやつ。もっときわれるといい。
- ・今日は見られなくなりましたが、金目川のお話(うちでは「土手がくずれるぞー」と呼ばれている展示)が、子どもたち3人とも大好きで。行くたびに見ていました。ラスカの壁に化石が入っているという説明を見て、ラスカに探しに行って見つけたりしたので、身近な博物館の外の物のことがわかる展示が印象に残っています。2Fの石の展示も長い時間どれが好き？と子どもと楽しみました。農具などの展示は作り方がわからず、動画があるといいね、と子どもが言っていました。

- ・空襲の展示で、焼夷弾の投下密度が目に見える形で表示されていたのが印象に残っている
- ・何回か訪れて、初めて2階にも展示があると知りました。2階の展示はこんなです～みたいな写真?!とか総合案内パネル?!とかありましたっけ?
- ・2階の展示がとても充実していてよかった。しかし、博物館の入口や、2階へ行く階段付近などが暗く。見に行くことをためらってしまう。展示内容が充実している分、とてももったいないと感じる。
- ・以前来館した時、戦争に関する展示があったのでそのような展示は特に毎年でも 8 月中にしていだければ良いと思います。
- ・よくないところではありませんがユーチューブで公開しているものと関連がある展示には、展示の横などに紹介があってもよいかと思いました。
- ・トイレを洋式に変えてほしい
- ・地域密着の展示が良い。(相模川・平塚空襲)
- ・その時代の生活に必要なもの、これは変化しているので標準品的なものでも残しておいてもらうと、後で振り返った時に子孫を連れて来た時に説明出来て有難さが判って良い。
- ・地質の講座で屋外で実際に解説していただいたこと。ただ参加者に対して細心の注意をされていて学芸員さんは大変だなあと感じました。
- ・平塚の歴史が良く判るもの、震災、戦争(太平洋)…火薬、空襲
- ・山の利用が変転していると判った。
- ・カブトムシがエサになってしまうことにおどろきました。
- ・昔の生活様式が見られる展示。体験型のイベント
- ・毎年夏になると戦争に関する展示等があって子供と一緒に見たりしてとても為になっています。
- ・プラネタリウムは平塚ではなかなか多くの星を見ることができないので、星の存在を感じることができてよかったです。
- ・実物の展示(昔の家や道具など)は大変勉強になります。
- ・昔の道具やくらしの学習にとっても合っていてありがたかったです。

#### 問 5 『博物館に望むもの』

- ・①②③が多いが④～⑦も一定数ある

充実した展示	43	13.7%
専門的な講演・講座	82	26.1%
体験行事	50	15.9%
子供向けイベント	21	6.7%
自由参加行事	36	11.5%
調べもの・相談	22	7.0%
WG 活動	29	9.2%
その他	31	9.9%
	314	



- ・平塚市をもっと知ることができる展示、平塚市内は広いので小さな地区の成り立ちも教えて欲しい
- ・お年寄りの参加が多いので、若年層にいかに参加してもらえるか、何か名案があるとよい。
- ・年金者等に関しては無料の入館はありがたい。特に将来のある子供達(大学生も含む)に無料は良いと思います。
- ・ここに来ると昔の平塚での暮らしが判る。ずっと続けて行って欲しい。
- ・平塚市博物館のご活躍嬉しく存じます。ただ内容的に今回の丹沢山地の如く湘南～かながわ西部など範囲を広げて頂きたく、私は茅ヶ崎からのお願いです。
- ・子供向けの解説(ジュニアガイドのパンフレット)があるとありがたいです。小学校社会科の学習内容をふまえたものであればさらにありがたいです。もっと多くの人が訪れる場になってほしいです！
- ・駐車料金体系の見直しがあると嬉しいです。(無料分だとゆっくり拝見できないので)
- ・全体的に展示についてスタッフに色々きけると理解が深まり楽しいと思う。
- ・石仏関係の特別展希望(もうやっていると思いますが、もっと見てみたい)
- ・平塚にとらわれず広く見つめて(神奈川、湘南)いろんな講座をやってほしい
- ・戦争体験を語り続け平和への祈り、平塚の歴史と伝承、文化の再興
- ・平塚は大都会では失われてしまっているものがまだ残されているいいところです。次の世代に引きつぐ人がいないようになってしまうのは残念です。
- ・平塚のことを学ぶきっかけになる展示は興味深いです。
- ・調べ物や相談もできるとうれしい。
- ・トイレを洋式に
- ・エレベーター
- ・もっと宇宙に関するイベントや展示を増やしてほしい。
- ・充実したバックヤード。学芸員が多いのは人件費はかかるが、一番平塚市博物館のいいところなので大切にしてください。もう少し、中高生・大学生がワーキンググループに参加してもらいたい。平塚に学校が少ないのではないので。
- ・平塚の鳥の展示
- ・無料で入館・土屋や岡崎といった中世の武将を扱った展示をしてほしい。
- ・神奈川県や相模湾・フォッサマグナについてもっとよく知りたい。ジオパークを作ってください。
- ・2023年大正関東大震災の遺構を回るまち歩き
- ・防災について博物館と行政など市民活動団体と協力して災害リスクがわかり、市民が関心をもって対策がとれるような特別交流企画をして欲しいです。
- ・野外での説明会、海底・砂浜のゴミのルーツ
- ・実際に行って見てみよう、やってみようと思えるような展示があったら楽しいです。さわれる、動かせる(本物でなくても良い)ことも興味のきっかけになると思いました。大人にとっては、自分で調べるきっかけを与えてくれる展示や、同好の人に出会えるチャンスがあるといいなと思い

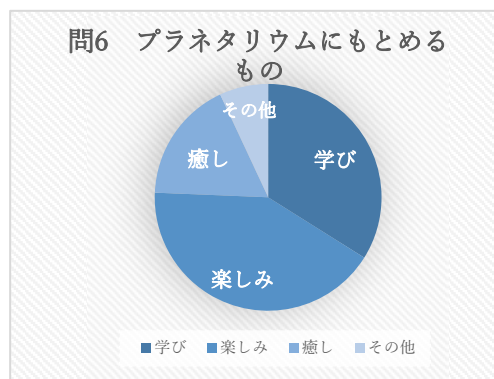
ます。

・博物館で刺激を受け、すぐ図書館で関連する本を読んだり、借りたりできる、この立地はとてもすごいと思う。文化的な3館(博物館・図書館・美術館)が隣接しているこの立地条件を考えた方に頭が下がります。とても刺激が受けられるこの3館をこれからも一緒になって繁栄させて欲しい

・本格的なお正月飾りをつくることができ、とても貴重な体験となりました。ありがとうございました。

#### 問6 プラネタリウムにもとめるもの

学び	39	33.9%
楽しみ	48	41.7%
癒し	20	17.4%
その他	8	7.0%
	115	



- ・土日が仕事で来られないので平日の夜とか希望します！
- ・画像の表現媒体の試みを見てみたい
- ・音楽も大切に、季節に合った内容、文学にも結び付けたプログラムにしてほしい。
- ・SNSなどで知った天文関係の情報をフォローして欲しい。
- ・自分も投影したい、自由に空を見る会とか

#### 問7 『総合博物館がある価値』は

- ・平塚のステータスを高めるものと思ってます。地域に関する知見を得られるなくてはならない施設と思います。天文学の話が聞けるのは非常にありがたいです。
- ・地域の歴史、自然科学を知る上で必要な施設であると感じている。平塚市民として博物館を維持していきたいし、充実することを望んでいる。
- ・自分が住む町にこのような施設があり、本当に幸せです！！予算がもう少しつくると良いな…と思います(笑)、防災等のアプローチで市民講座を開くと予算がつくかもですね
- ・生涯学習の場として無料で見学・参加できることが素晴らしいと思う
- ・元々、事象や事物を多面的にアプローチすることを志向しているので、その意味で成果を出されていてとても参考になる

- ・平塚市の事がよく判る。会社人間で退職後訪れるようになりました
- ・生涯学習にとっても助かっています。身近に先生のおられる事の幸運を感じています。
- ・県央では珍しく、興味深い
- ・地域だけでなく、全国へ世界へ知識が広がる場所
- ・専門の教養がないのですが、貴所のおかげで、刺激をいただいております、有難く思います。
- ・大変貴重でいつも様々な企画展を楽しみにしている。企画展についての特別講演会を開催していただくことを希望している。学びの場から市民とも連携した研究の発表もして交流を深める場になるといい。
- ・学びの場が与えられるので助かります
- ・全国的にも素晴らしい地域博物館で、誇らしい気持ちです
- ・論を待たず
- ・社会教育の機会提供と知のネットワークの拠点
- ・大変有意義。平塚市周辺の自然について広く深く知ることができる。仲間もできる。
- ・博物館が好きな私としては、多大な資料的価値を持ちます。
- ・地域に起こった歴史や特徴を知ることができるのは大切だと思います。
- ・専門的な知識を身近に学べる場所
- ・ひまな時に行けば何か学べる。
- ・地域の生涯学習の核として頼もしいと思っている。親が知らないことでも子どもが興味を持つきっかけを作ってくれるし、その後もっと知りたくなったら学べる、という場所が「近くに」あることは、博物館がある地域のアドバンテージだと思う。
- ・地域の歴史や地理的情報が集まり、研究のベースとなる事で今後の地域の発展を構想するよすがとなる
- ・学びの場、憩いの場
- ・平塚に限らず近郊の地域の成り立ちを知ることが出来る、気軽に。
- ・昨年平塚市に転入してきました。以前住んでいた所には博物館はありませんでした。住んでみると身近に博物館がある生活はすごくぜいたくなんだとわかった気持ちです。平塚空襲の展示では、地区ごとにどうやって逃げたか、またこま山の絵、江南高校の生徒の日記など、隣でおこったことを近所の人が話してくれている様で戦争がリアルにせまってきました。そうすると世界の紛争のニュースも以前より遠いものではなくなった気がします。自分の地域の歴史や文化を知ると、遠くまで視線が広がる感じがしました。博物館は折りにふれ、知らないことを知らなかったんだと教えてくれる場所です。
- ・前に住んでいた市は博物館がなかったが、たくさんショッピングモールやカラオケなどがあった。買い物にも、遊び場にも困らずとても便利さを感じていた。平塚に引っ越したときは、平塚が前に住んでいた所と比べ少し地味な印象があった。しかし引っ越してから1年ほど経った今、前に住んでいた所よりも平塚に愛着がわいている。正直に言うと、平塚は前に住んでいた所よりも不便だ。だが博物館を通じ平塚の歴史や文化、平塚に関係する事柄を知ることができた。ショッ

ピングモールなどは作ろうと思えばどの地域にでも作れるが、歴史や文化は特定の地域にしか存在しない。そんな歴史や文化に博物館を通じ、触れたことで自分が平塚に関心を持ち、平塚の新しい魅力に気づくことができた。

- ・地域の重要な文化(財)をみたり学んだりできるのでなくてはならない
- ・WGが楽しみです
- ・心のよりどころです。ワーキンググループは他にはないとおもいます。
- ・身近に学べる場所があって、便利です。
- ・博物館の活動は、「生きがい」の一部になっています。市外在住ですが、大変ありがたいです。
- ・地元としての平塚をよく知ることができる
- ・地域の成り立ち等、現在までの過程が分かる事。
- ・自分が生活している土地からのエネルギーを吸収すること
- ・住居と同じ場所に拠点として総合博物館があることにより、多くの市民への地域の窓口として、存在感を感じ取れるのではと考えられます。
- ・地元の平塚の全体像がつかめます。二宮、大磯、伊勢原の博物館と協同でより広い湘南地域の学びが得る機会を持ちたい。(広域の学習会など)
- ・生活を考えるうえで基盤になる
- ・他市から転入した身としては、シンプルにどのような特色のある土地なのかがわかる貴重な場所です。様々な角度(分野)から魅力を教えていただくことで、関心や愛着が高くなります。
- ・存在の意義を感じる
- ・地域を知る機会となる
- ・無料であることがすばらしいです。我々が生まれてからも短い間に道具が進化したことがわかる。直接現在の役に立たなような研究に熱い方々の存在がうれしい。
- ・平塚の歴史・地域の昔がわかりやすい。
- ・市の財産だと思います。ほこらしいです。
- ・情報源、市民としてありがたい。
- ・我々が生きた証を子孫の時代に知れる機関として受けとめています
- ・地域の自然と社旗の関係を知る場です
- ・人間の営みが時代を経て様子が変わっていくことが解って、それが現在の立ち位置から未来へとつながっていくことが感慨深いと思う。
- ・自分の知っている分野だけでなく、幅広く知ることができ、物の見方が拡がりました。
- ・非常に大切。勉強と研究の場を提供(学芸員によるアドバイス、専門的な説明)
- ・子供の学びにつながる。昔のことを知れる。
- ・平塚市や自然事象について学ぶことができる。社会や理科を身近に感じる事が出来る。
- ・ニュースでよく平塚市博物館の学芸員の方が解説しているのを見るので、とても嬉しい気持ちになります。
- ・子供に知る事、学ぶ事の楽しさや、発見する事などができる所だと思います。プラネタリウムな

どがある事はとっても価値がある事だと思います。

- ・プラネタリウムなどをくり返しみるのができるのはとても価値があると思います。
- ・教員として、子供が実際に見ることができ、詳しい人にも話を聞くことができるのは、とても貴重。
- ・地域への理解、愛着を深めるのに欠かせない施設だと思います。何度来ても新たな発見があり、勉強になります。

#### 問 8 『将来の子供たちにとってどのような博物館であってほしいか』

- ・市の予算的に継続が難しくなることがあるのかもしれませんが、継続維持されることを願います。
- ・自然科学の分野とともに、地域の歴史を伝える博物館であってほしい。
- ・地域の特性を知り、それを生かして社会を構築していくことが今後の日本のために必要なことだと思う。
- ・地域に活きた博物館として、市民との双方向で今後とも取り組んでいただきたい。
- ・理数バナレの子供をなくして！、古くさいイメージ(暗い…)を与えないような場所にして欲しい。学習内容とのタイアップ、地質・宇宙・恐竜・植物がより判り易く教えて下さい。(されていると思いますが…)
- ・親子で楽しめる
- ・身近な知識の源
- ・科学のふれあいのできる身近な博物館。東京の科博には遠くて行けない…
- ・何でも知識が得られる場所
- ・ワクワク、ドキドキ、新しい発見ができる博物館として子どもの喜ぶ企画を開催してほしい。
- ・様々な学びを与えてくれる場であってほしい
- ・云うことなし
- ・自然に関して広く体験できる場。そのきっかけをつくる場
- ・その子の興味が何かを発見出来る場になると素晴らしいかと思います。
- ・新しい事に興味を持つ機会を与える場である博物館であってほしい。
- ・平塚ってどんなところであるかを知る機会を提供できる場所であってほしいです。
- ・住んでいる地域の総合的な情報を得られる様な場所
- ・学校で連れられて行くというよりは、休みの日に楽しみで行くところであってほしい。
- ・気軽に行けて、楽しくて、その気になったら奥が深くて、古いものやできごとがなんでそうなっているのかを知るきっかけをくれて、何度も行きたくなるような博物館だったらいいなと思います。
- ・知的関心を深める手がかり、もしくは学習の拠点となって欲しい
- ・学び、興味をかき立てる場
- ・広く広報し、子達の自主的参加を促してもらいたい
- ・本当なら自分で、今回のお正月飾りのように自分でこどもに伝えられていけばいいですが、知

らなかつたり、見たことなかつたり…、文化の継しょうに役立つようなイベントとかが変わらずにずっと開催されるといいな、と思います。

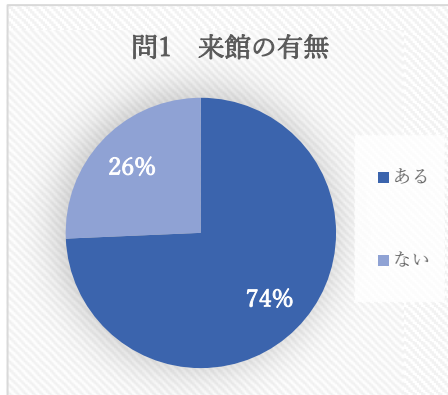
- ・学びの場所であるということはもちろんだが、それだけではなく、個人の息抜きとして日常的に気軽に訪れることができるような雰囲気があるが博物館であってほしい。
- ・気軽に利用できる、行くと楽しい、学びがある、身近な博物館
- ・地元に着がわくような、興味を持てる知識を得る
- ・時代と共に世代への知の入口になればと思います。
- ・学校への出張説明、子供の体験学習の充実化(中世人の食事の作成と試食会など)
- ・学習的な面では様々な角度(分野)から興味を持つ入り口として収集している資料を長期的に、各分野で展示することで、広い角度の魅力を伝える場として
- ・文化、歴史を知り、いやしの場になること
- ・何でも民営化(有料)にしないでほしい。佐渡の民俗博物館のように何でも古い物がズラリとあっておもしろい所であってほしい。
- ・もっとイベントを増やし、誰でも気軽に参加出来るように、PR が少ない
- ・平塚はこんな町、長い歴史の中でこんな暮らしをして来たという一環が判る様な物や資料が残っていると意義がある
- ・本日講座の丹沢～平塚地区は江戸時代～明治、昭和に至るまで江戸～東京の大都会を支えた(木材・馬運・砂利・農作物・水資源)刈場の印象が大きく、相模川の将来文化のために、将来市民へもその政治資源の開発・文化の必要性を痛感した。
- ・展示をより充実してほしい
- ・もっと若い人が来てくれるように。小学生でなく若者や壮年の大人達が来るように、宣伝の仕方が…
- ・知の中核であり続けて欲しいです。
- ・現在の生活をと結びつような話、過去の羅列では実感がわかない！
- ・平塚周辺のことを知り自然を知り考えることができる場所であってほしい。
- ・我が子(小学生)が、博物館に行き、「こんな物があつた」と沢山話してくれました。子供達にとって刺激を受ける場所でいつづけてほしいです。
- ・いろいろな事に興味を持つためのトピラ
- ・昔、今、未来をつないでいくような博物館。
- ・色々な体験が出来たり、気軽に足を運べる所であって欲しいと思います。
- ・学校の学習の予習や復習ができる場所であるといいなと思います
- ・自然や歴史文化を知ることができる、地域に着が湧くような場所
- ・歴史や大切にされてきたものをうけついでいけるものであって欲しい。知識としても
- ・気軽に何度も足を運ぶ場であってほしいです。子ども、家族にとって魅力的な展示、企画を続けていただき、親しんでほしいです。情報発信も、SNSを活用するなどして、若い世代へPRをお願いしたいです。



## 平塚市博物館の今後のあり方に関するアンケート調査集計結果

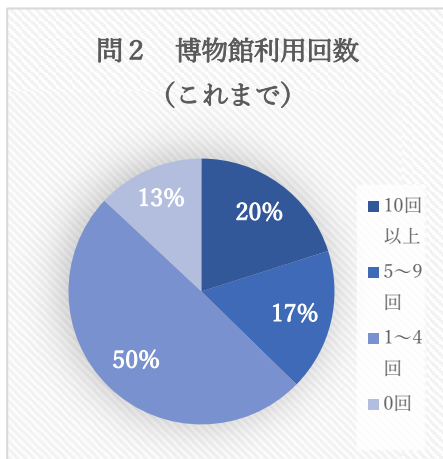
- 1 目的 平塚市民が持つ博物館に対するニーズや意見を把握する
- 2 調査方法 郵送による調査票の配付、返信用封筒及びWebによる回収
- 3 調査期間 令和4年11月22日(火)から12月15日(木)まで
- 4 対象 平塚市在住の10歳以上(令和4年11月1日現在)の男女1,000名(住民基本台帳から無作為抽出)
- 5 回収数 332件(33.2%) 内訳 郵送回答:242件、Web回答:90件
- 6 質問項目 (問1)平塚市博物館に来館したことがありますか。  
(問2)今までに、何回くらい博物館に来館しましたか。  
(問3)今までに観覧または参加したことがある博物館の展示やイベントは何ですか。(複数可)  
(問4)現在の博物館の活動や行事にどの程度満足していますか。  
(非利用者への質問)  
(問5)これまで博物館を利用しなかった理由は何ですか。(複数可)  
(問6)これからの平塚市博物館に望むものは何ですか。(複数可)  
(問7)プラネタリウムの一般投影に求めるものは何ですか?(複数可)  
(問8)市民にとって「より価値のある博物館」となるには、何が必要ですか。  
(自由記述)  
(問9)将来の平塚市民(あなたの子どもや孫)にとって、平塚市博物館はどのような博物館であってほしいですか。(自由記述)

(問1) 平塚市博物館に来館したことがありますか。 ※1つだけ回答する設問です。



回答者の 74%、4人に3人が博物館に来館した経験を持つ。この数字は過去の市民意識調査などよりはるかに率が高い。

(問2) 今までに、何回くらい博物館に来館しましたか。



これまでの利用回数では、半数が4回以下の来館となっている。

(問3) 今までに観覧または参加したことがある博物館の展示やイベントは何ですか。(複数可)

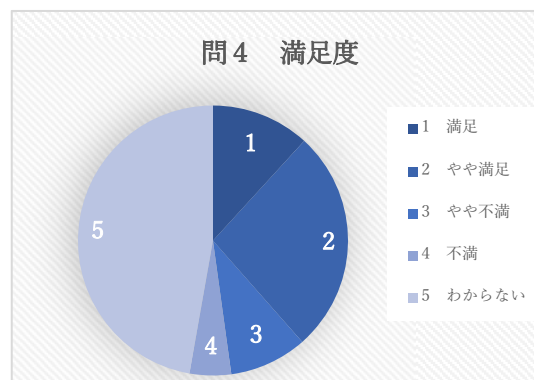
1 特別展示	98	21.0%
2 常設展示	135	29.0%
3 寄贈品コーナーの展示	26	5.6%
4 プラネタリウム	134	28.8%
5 ワーキンググループ	2	0.4%
6 こどもフェスタ	16	3.4%
7 申込制のイベント	16	3.4%
8 自由参加のイベント	9	1.9%
9 調べ物や質問・相談	13	2.8%
その他	17	3.6%
	466	



展示の観覧が半数を占め、プラネタリウムを目的の来館も多い。

● (問4)現在の博物館の活動や行事にどの程度満足していますか。

1 満足	19	11.8%
2 やや満足	43	26.7%
3 やや不満	15	9.3%
4 不満	8	5.0%
5 わからない	76	47.2%
	161	



《満足度の理由》

展示やプラネタリウムが良かった

- ・平塚の歴史や文化について知ることが出来て良かった。まだまだ知らないことがありそうで、もっと知りたいと思った。
  - ・展示が充実している。特別展示がためになる。
  - ・展示物が豊富
  - ・丁寧に展示している。
  - ・市に根付いた展示があり、調べ物に使ったことがある。特別展示として、もっとマニアックな内容もやってほしい。
  - ・平塚市の歴史が学べる ペンシルロケットには興味を持ちました
  - ・小さな博物館ではあるが、こだわりのある特別展や廉価なプラネタリウム上映などが好きだから
  - ・「平塚学入門」。現地(博物館内)では地域に密着した展示物である。
  - ・プラネタリウムを見たい時、気軽にいけるから
  - ・プラネタリウムの出来が良い
  - ・幼少期に行ったのであまり記憶にないが、プラネタリウムは非現実的な空間で楽しかった記憶があります。
  - ・予約制のイベントに参加した際、とても楽しんで体験できたとともに、知識を深めることができたから。
  - ・子供達の勉強になる為
  - ・子供が喜んだ
  - ・お母さんと弟といったことがあるが楽しかった記憶がある
- PR 不足
- ・素晴らしい活動があるのにアピール不足を感じる
  - ・周知がされていないのが残念。

施設や展示が古い

・小学生の頃、頻繁に週末利用していました。先日40年ほどぶりに訪れましたが、換気が悪く匂いがきつすぎて、入口で止まってしまい中まで入ることができなかった。

・建物が古い

・展示物が古い、設備が老朽化している

・全体に古い。催し物は新しくても古いものに見える。物置のように見える場所もあった気がします。

・いつも同じ展示内容なので、陳腐化してつまらない

・展示内容が同じなため、一度行けば良い

最近是利用していない

・子供の頃はよく利用したが、最近はあまり利用していない。

・子どもが大きくなるにつれて、利用頻度が減りました。これまでは満足していましたが、子ども向けの展示中心だと思いますので、今後利用頻度は下がると思います。

・子どもの頃に行ったきりで、また行きたいと思わない。

・子供が小さい頃はよく参加していました

興味が無い、面白くない

・興味がわからない

・面白くない

・幼児向けのものが無い

・博物館が楽しい、行ってみな！と言った声を聞かないので興味がわからない。

わからない

・利用頻度が少なく判断できない

・行ったことがない為

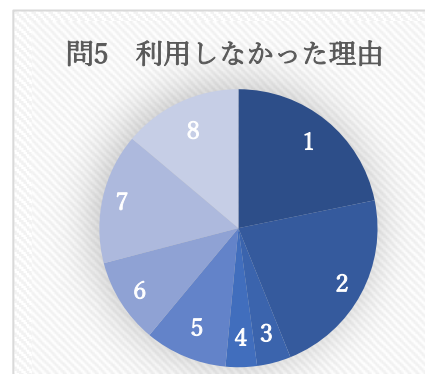
・活動や行事何をしてるのかわからない。

・情報が入ってこないため

(非利用者への質問)

● (問5)これまで博物館を利用しなかった理由は何ですか。(複数可)

1 博物館に興味がない	66	21.8%
2 興味のある分野がない	67	22.1%
3 インターネットの情報で十分	12	4.0%
4 地方博物館には興味がない	11	3.6%
5 曜日・時間が合わない	29	9.6%
6 交通が不便	30	9.9%
7 駐車場が有料	46	15.2%
8 その他	42	13.9%
	303	



#### 《主な自由記述》

博物館の情報に接する機会がない

- ・情報が入ってこない
- ・どんな物があるか、どんな事をしているのかわからない
- ・場所がわからない、興味があるかわからない、広告をほとんど見たことがない。
- ・何を展示されているのか知らない。知る機会がない。
- ・何を展示しているのか知らなかった。行ってみたいと思う広告を目にしたことがなかった
- ・何が展示されているかわからない。調べてまで行こうと思わない。
- ・特別展など宣伝の告知が少ない
- ・博物館での催し物の情報がわからない
- ・利用してみたいと思うが魅力を感じるようなイベント(内容)のお知らせが目に入らない。

興味がない

- ・特に自分の趣味として博物館は思いあたらない
- ・建物が老朽化(外観)しており、入る気がしない。
- ・入り口が暗っぽくて入りづらい
- ・雰囲気暗い、地味
- ・変化がないので正直1回行けば十分という感想。特別展も図書館に来たついでに行こうというのが本音

利用する機会が無かった

- ・利用する機会がなかった
- ・仕事が忙しくて行こうという気にならない
- ・足を運ぶきっかけがなかなかありません
- ・行きたいと思っていますがなかなか実行できていない
- ・平塚在住歴がまだ短いので場所すら知りません
- ・引っ越してきたばかり

・子育て中は子どもが興味を示す物に重きをおいてましたので博物館に行く機会がありませんでした

・子供が大きくなってからは行かなくなった

その他、諸事情により

・静かにしないといけない場所なので子供を連れていけない

・年齢が高くなったから

・孫が小さい頃に行ったが、今は一緒に行く相手がいない

・自宅から離れている

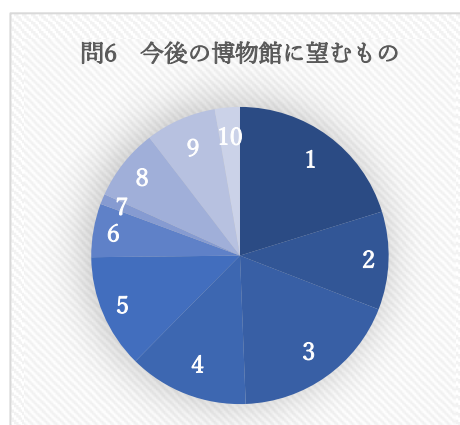
駐車場が有料だから

・平塚市の公共施設の駐車場料金有料に以前から大不満です

・気軽に立ち寄る事が出来ない。博物館で無料券を発行してほしい

● (問6) これからの平塚市博物館に望むものは何ですか。(複数可)

1 充実した展示	163	20.2%
2 専門的な講演や講座	86	10.7%
3 体験ができる行事	149	18.5%
4 こども向けのイベント	105	13.0%
5 自由に参加できる行事	100	12.4%
6 調べものや質問・相談ができる	47	5.8%
7 ワーキンググループ活動※	9	1.1%
8 学術的な調査・研究の推進	63	7.8%
9 インターネットの情報発信	62	7.7%
10 その他	22	2.7%
	806	



《主な自由記述》

ワクワクする博物館

・もっとワクワクするようなものが必要な

・大人がワクワクするような博物館にしてほしい。他県から人が来るような博物館にしてほしい

・市民の年代に関係なく興味がわくものを望みます。ニュースで流れ星など平塚博物館員撮影と出ると少し誇りです

・平塚市制90周年を迎えたこともあり市の歴史、史跡、なりたち等住んでいる者としてもっと知りたい、身近に感じたいと思います。

・平塚がもっとにぎわうように楽しそうなイベントを企画してほしいです。

#### 展示等の充実

- ・ 一年前と同じ変わらない展示だったら観覧したくないです
- ・ 展示内容のリニューアル（費用面では難しいか）
- ・ 地元平塚に特化した展示
- ・ 平塚市固有の展示物、特有の学術資料、美術品など
- ・ 歴史的貴重な物の展示
- ・ 海に隣接している地域なのでそれに関連する行事があると良いのではと思います
- ・ 最新技術を使った観覧方法
- ・ なかなか難しいと思いますが著名な展示があると見に行ってみたくなると思います。
- ・ 特別展の招致
- ・ 特別展示の内容に関連した詳しい資料や論文のレポートなど文献の閲覧ができるとありがたいです。
- ・ 資料収集、保存、調査研究等を思うのですが私の考え方が古いかな？
- ・ プラネタリウム、星を見る会が素晴らしいので平塚市としてもっとアピールしたら良いの  
にと思う
- ・ 最近テレビで天体観察分野で平塚市博物館の藤井学芸員が紹介されているので、直接話し  
が聞ける企画があれば参加したい。

#### 子どもが楽しめる展示やイベント

- ・ 幼児でも楽しめるイベントや展示を充実させてほしい
- ・ 子供達が興味持てる事を少し考えてほしい
- ・ 子供達がワクワクするような楽しいイベントや講座があったら親も一緒にまた参加した  
いなと思いました。
- ・ もっと楽しいイベント、行事を。参加した方へ参加賞等を。

#### 施設の改修

- ・ 建物の建て替え（バリアフリー対応）
- ・ 何か暗くて入りづらいイメージがあります。入りやすさを感じられたらいいと思いま  
す。
- ・ 入館して感じる雰囲気が暗い。湿気っぽい臭いがある
- ・ 廃止される予定の青少年会館を第2博物館として利用、展示品の充実

#### 情報発信の充実

- ・ 行こうと思わせる思考、宣伝
- ・ 興味のない親にも一度は子どもと行ってみようと思うきっかけ作ってみて下さい
- ・ 普段利用している施設、駅等で催し物を知る発信が欲しい
- ・ SNSの情報発信を活用して知ってもらうこと
- ・ 現在の展示イベント等、何をやっているかがわからない。SNS等(FMナパサ等や)の帯番組(週  
変わり)で毎回お知らせコーナーがあれば自然と頭に入るので行くきっかけになるのでは

(問7)プラネタリウムの一般投影に求めるものは何ですか？(複数可)

1	学び	186	27.6%
2	楽しみ	193	28.6%
3	いやし	167	24.7%
4	ロマン	121	17.9%
5	その他	8	1.2%
		675	



《自由記述》

- ・プラネタリウムはすばらしい
- ・無料にする。今も無料でしたらご免なさい。
- ・投影日時を公表してほしい。(PR不足)
- ・市民が行ってみたい施設だと思う。予約がWEBで可能としていただけると良い
- ・「今日見える星座」はどこでもやっていて飽きたので別のものを見たいです
- ・平塚は七夕の町と言うなら七夕にちなんだ織姫彦星の逸話などを含む撮影制作を行う
- ・外部投影(プロジェクションマッピング)を行い、イベント等(七夕・花火大会等)で誰もがより楽しめる様にしてほしいです。

(問8)市民にとって「より価値のある博物館」となるには、何が必要ですか。

(自由記述)

市民が望む博物館のあり方

- ・親子で家族でいつでも気軽に立ち寄れる場所であってほしい。
- ・流行りに乗らず博物館本来の機能を高めること。
- ・資料の収集と自然現象の記録の継続とそのアウトプット
- ・当地の過去の諸々情報を集めたものならば、絶対に必要なものです。より強力に情報を発信して下さい。
- ・新しい発見とおどろきが体験できる様にして欲しい
- ・小学校の行事として頻繁に訪れる場所にしたい。家族で行くきっかけになる
- ・創意工夫を継続して行い市民に愛され続けること
- ・市民の人が「楽しい」「行ってみたい」と思える場所になることが必要だと思います
- ・市民によりそう博物館である事、門戸の広さ一般の人の利用しやすさ、学識の深さ。
- ・平塚に住んで良かったな！と思われられる取組を期待します
- ・地方の博物館によく行きますが、それぞれ特徴があり記憶に残ります。平塚は何が特徴であるのでしょうか。それが価値と言われるものではないでしょうか。
- ・変わらないのも大事だが変化も欲しい。地元平塚が好きになるようにしてほしい。他の博物館へ



行って研究したほうがいい。お金をかけなくても工夫するだけで違うと思う。リピーターを増やしてほしい。来館者数を増やしたい。変革が必要。キャラクターを作った方がいい。

- ・たくさんの人に興味をもってもらうために流行のものやテレビで話題になっていることなど平塚との関連があるといいのでは
- ・「平塚市の歴史を解かりやすく知る」「平塚市の名物・名人」「平塚市の未来を創造する」展示、講演
- ・地方博物館として中途半ばにならない。地域に特化しPRすべきではと思っています。また開館時間は夜まで広げ、子供だけでなく青年にまで利用拡大したいですね。
- ・神奈川及び平塚に特化した博物館である事
- ・他の市町村からも来館するような魅力
- ・他市の人へも平塚の魅力を発信できる場所にする。また、総合公園に遊びに来たついでに寄りたくなる催しなど、サッカーの試合に来た人達も気楽に立ち寄れたらいいですね。
- ・平塚に関する資料だけではなくより広い視野での学びや面白さを伝える。世界に興味を持ち得る子供、若者が平塚の地で十分に学べる環境作り
- ・上野の東京国立博物館に近づくのが理想。大きなイベントがあると良い
- ・より価値のある博物館”の目的は来館者の増加であるならば、”平塚博物館”と言う名前が敬遠される理由と思う。来館者を大人と想定しているのか？子供と想定しているのか？大人であれば、国立博物館に行くだろうし、子供であれば科学館に行くだろう。
- ・インターネット時代にあって、実物の展示はますます重要。また、インターネットでの情報発信もますます重要。価値伝達の手法をもっとフレンドリーにする必要がある。
- ・ネットでは得られない、情報をリアルに体験できること。
- ・気軽に入りやすい建物の外見。子どもが一人でも気軽に入れる博物館。市民参加型の催しがあることや、市民と一緒に研究、展示が出来る博物館。
- ・市民とともに自然や環境、歴史遺物等と共存しながらも守れるように街づくりにも貢献できる。
- ・平塚という地に根ざした博物館であってほしい。今やっているかもしれないがサポーター制度を採用して市民とともに歩む博物館にできないだろうか。
- ・市民の眼を開かせ結果として市民の視野が広がり自発的に学び取りたいと思ったときに、適切に情報にアクセスできること
- ・子供から大人までそれぞれが楽しみながら学ぶことができる情報の提供や展示が必要だと思います

#### 展示

- ・マンネリ化した展示がつまらない。展示方法にも工夫がない。ワクワクする感心する展示がない。
- ・今まで見たことのない展示されていなかった物が新しく見られるとなれば行きたいと思うかな。一度も行かないでも済んでしまう博物館だと思います、今は。平塚に博物館があることを知らな

い市民も。外壁の色を明るい色にしてみれば。

- ・平塚らしい内容の展示が必要
- ・他の博物館にはない展示(平塚でしか見られないもの)
- ・平塚を訪れたら、必ず訪問したくなる様な常設展示がある＝市民の誇り、自慢になる。
- ・平塚市に住んでいてよかったと思えるような他市にはない平塚独特の展示物や調査研究資料
- ・地域の歴史がリアルで学べる。
- ・平塚市博物館と言えばこれだ！という特徴的な展示をアピールすべき
- ・何かに特化した物の展示が必要なのではと思います。
- ・目玉になるもの珍しいもの他では見られないものを飾る。子供向けのイベント。
- ・より価値あるものを展示すること
- ・他では見ることができない貴重なものを展示すること
- ・難しいかもですが国宝級の展示品
- ・世界的に有名な学者を招いたり、珍しい展示品をもっと多く展示することが必要だと思います
- ・地域の歴史がわかるというのはとてもありがたいです。それを基本にしてももしかしてもうやっちゃっているかもしれませんが全国を回っている様な企画展などを開催して頂くとうれしいです。ローカルな事だけではなく遠くまで行かなくても平塚で観れる！！というようなものを作って頂きたいです
- ・色々な物の数多くの展示
- ・何度でも見てみたいと思える様な展示・企画を考えてほしい 小学生、中学生が再度見たくなる企画が必要
- ・平塚の歴史について学べる資料展示
- ・考古学の展示や地域の歴史を学べるような資料の充実
- ・身近にある物、分かり易い物のうつり変わる様子等
- ・剥製がもっとあればと思います
- ・古代からの恐竜の展示(小田原の地球博物館など)興味の沸く展示。参加型のイベント
- ・子供の興味を持たせる内容(恐竜、昆虫、海の生き物など)
- ・昔地震の時にどこがひどくゆれて建物がこわれたとか津波がどれくらいあったとか、災害の時にどんな事があったかとかが目でみて分かると思う。ハザードマップだといまいち実感が無い。実際にどうだったのか知る事ができる場所になるとよいと思った。
- ・常設展示が、昔の物が多くあまり魅力を感じません。科学館とは違うとは思いますが、せっかく星や彗星に詳しい方がいらっしゃるのです。それを前に出すと良いと思います
- ・プラネタリウムがあるのだから科学博物館にして、見るだけではなく実験教室や子どもがワクワクするようなコーナーがあればよいと思います
- ・展示への解説の充実。素人でもわかりやすい解説で興味がわくような解説を増やす。
- ・時代に合った投影や展示方法、タブレット等を使い、動かないただ置いてあるだけの単調な展示をやめてみるとか

- ・平塚の歴史の映像体験(VRを使ってなど)展示品を見せるための設備の近代化(プロジェクションマッピングなど)
- ・パネルや光を使って堅苦しい感じではなく綺麗だから行ってみたいと思えるような博物館が良いと思います。
- ・ポイントラリーとかで問題を解いて次に進むみたいなゲーム感覚で挑戦できる???子どもが来なくなる身近になる
- ・今ある展示を見つめ直し、一つひとつを少しずつ磨くことで、価値が高まると思います。流行りを追うのであれば、来場されている方にアンケートして聞くのが一番です。行かない人の考える価値を実現しても、利用者が満足して帰るとは限らないので。

#### プラネタリウムと天文

- ・プラネタリウムに力を入れた方が良いと思う。平塚市のプラネタリウムに行きたいと思うほどに。そこに行けば学べるって思うほどに力を入れる
- ・最近、隕石等の情報をテレビで見ると、平塚市博物館の観察の動画が流れてくるので博物館の方の働きを頼もしくうれしく思っています。
- ・天体に興味があるのですが、現在とても平塚博物館に期待をしていますので、天体といえば…という様になってほしいです。TVニュースに出る事がとてもうれしいので、ますます力を入れてほしいです。
- ・現在もNHKニュース等で火球の話の提供が「平塚市博物館提供」とあることがあり、地元民として誇らしいです。最新の身近な話題などをこれからもHP、ネット発信を今後も続けてほしいです。
- ・プラネタリウムの活動が活発で学芸員さんの取組が評価できているので他分野でもよりUP
- ・プラネタリウムなど、最新の製品にして付加価値を与えて欲しい。

#### イベント

- ・何度も行きたくなるようなイベントやフリースペースなど
- ・館に来てもらう他、出張して展示物や企画物を見せてもらい、多くの人に触れる機会を増やし、市民にその必要性を感じてもらう
- ・手作りのイベント(年代別)絵を書く人が自由に利用出来る
- ・平塚、湘南地区についての研究成果発表
- ・子供達の学びはもちろんですが楽しめるアトラクションとか体験型の学びは記憶に残るのでもっといろんなイベントがあれば行きたいと思います。

#### 施設とサービス

- ・館内の暗い神秘的なイメージも必要だし明るいゾーンもとめりはりのある館内だと又楽しいかなと思います

- ・建物を新しくし、時代にあわせて進化する。博物館、文化ゾーンについても市役所庁舎のように立派に生まれ変わって子供達が楽しめるスポットにしてほしいです
- ・図書館の方は気軽に行けますが博物館の方は何となく行きづらいです。何か魅力的なものがあるといいです。
- ・入口をもっと明るくしてワクワクする雰囲気になったらいいかも。
- ・まだ市民が気軽に立ち寄れるには敷居が高い部分があるのでもう少し展示に工夫を凝らしてはいかがでしょうか？例えばエントランスホールが暗いので明るく入りやすい工夫があってもよいのではないのでしょうか。展示品を保護する為にあまり明るくできないのはわかりますが。
- ・もっと明るい感じ、休日を過ごせる場所として堅苦しくない雰囲気
- ・居心地のよい空間、場。レストラン、カフェ
- ・夜間も入場できること(金曜日のみでも)
- ・素敵なスタンプがいくつかあるといいです。オリジナルグッズの売店。博物館・美術館の楽しみはゴールにある売店です。
- ・もう少しプラネタリウムでも限定品とかのかわいいものを販売してほしい

#### 広報

- ・今何を展示しているのか等の周知が足りていないため何をしているのか全く知らない。まずラスカや駅周辺等にポスター等おしらせを多くして足を運ばせるようにするのが先決だと思う。
- ・美術館のように建物の前の道を通った時に今何をやっているかが分かるようにした方がみんなが博物館のことも意識するようになって行く人が増えれば博物館に対するやってほしいことの希望も出てきていいのではないかと思います。
- ・宣伝力、ホームページ見れば何をやっているか分かるけど行かない人はホームページは見ないので別の宣伝方法もあった方がいいと思う
- ・まずは周知。展覧会情報にアクセスしにくい。駅地下に展覧会情報が掲出されているが、もっと周知させても良いと思う。市内企業に掲出を依頼するなど、自らアクセスせずとも目に入るようになるとう良いのでは。
- ・博物館にしかないオリジナルのものやキャラクターで特別感を出す
- ・ドラマ撮影で建物や前広場が使用されてうれしかった又最近平塚市プラネタリウムの人がニュースに出ているのをみると行ってみようかなと思った
- ・博物館に一つ話題になりそうな物をつくる

(問9) 将来の平塚市民(あなたの子どもや孫)にとって、平塚市博物館はどのような博物館であってほしいですか。(自由記述)

- ・ 出前授業のようなことをやってみるのはどうなんだろう。
- ・ 子どもがわかりやすい展示内容、方法にしてください。
- ・ ちょっとわくわくする所。ただガラスケースをながめるだけではない所
- ・ 博物館が価値ある存在であることを、あたりまえに市民に理解されている博物館
- ・ 市民が頼れる博物館であってほしい。子どものころから博物館の仕事を一緒にし、平塚というこの地を誇りに思うような子どもが育つ博物館であってほしい。
- ・ 学びの場であり夢を育む場
- ・ 建物自体も殺風景なので全体的に明るいイメージがほしい
- ・ 今風のコンピューターを遊びに取り入れ、未来の平塚の予想(想像)をさせたりできるのはどうでしょう。
- ・ マニアックか何かに特化した博物館であってもいいと思います
- ・ 子供から大人まで参加できる行事を多く取り入れ専門的な講演や講座を増やしていただきたい
- ・ 平塚の歴史遺産や自然を保存、保護する活動をお願い致します
- ・ 様々な展示やイベントを通して興味、感心や学びたいと思えるようなきっかけとなるような場所であってほしいと思います
- ・ 学校側の問題かも知れませんが博物館の見学や勉強に行く機会を増やしてほしい
- ・ プラネタリウムは子供達が大好きなのでなくならないで欲しいです
- ・ 平塚のシンボルになるような、どの世代も楽しめる博物館になってほしい
- ・ 理科書や社会の教科書にのっている絵や遺跡を実際に目で見て感じれる場所
- ・ 一日時間を過ごせる場所
- ・ 市民に向けての発信がよくなされていると感じています。これからもより身近に感じられるような存在であってほしい
- ・ 身近でいろいろ調べられる図書館のような存在
- ・ 平塚市の歴史が学べることも重要だけど、平塚では見れないものが見れると楽しい。
- ・ イベントも大事だけどイベントじゃなくても寄り道したくなる親しみのある場所。
- ・ 地元の良さと歴史を知り平塚市(又は地域)を支える人になってほしいので、その為の影響を与える場の一つになってもらいたい
- ・ 展示品を見るだけでなく実際に使ってみることができたら更に素晴らしいと思います。もし寄贈してくれる方がいて使用を許可いただける物があればぜひ試してみたいです。昔の道具等
- ・ 気軽に何度も利用できる博物館 楽しいと感じると子どもたちは何度も行くと思います

- ・心が豊かになるような博物館
- ・ふらっと立ち寄れる憩いと学びの場
- ・私ほ時々中央図書館に行くので図書館のあとは博物館にも行きたくなるような所であってほしいです
- ・子供が大きくなって自分の子供に勧められる博物館になってほしい。子供が思い出として一生残るようなものになってほしい。図書館へ行くためだけでなく博物館へ行くためと子供に言ってもらいたい。
- ・平塚特有のもの、自然、歴史、地理などのことを楽しく知ることができる場であってほしい
- ・小さい子があそべるようにしてほしい。湘南台の博物館みたいなパークがついてほしい。室内が暗くてこわい。
- ・星をみたりセミの調査をしたり、専門の方とのかかわり等今までのようなやり方で良いと思います
- ・平塚市の歴史を分りやすく写真やジオラマの展示、その時々事故、事件、衣食住の展示。そして50年先の平塚の姿等
- ・平塚に住んでいる歴史などを次世代に残してほしい。博物館は最近非常に市民に役に立っている。今後もその意識で続けてほしい。博物館の職員は頑張っていると思う。
- ・未来の世代の人が展示品などを見たりしたときに、そこから将来役に立つような知識や経験を学べる博物館になってほしい
- ・1度ではなく2度・3度と行きたくなるような中身にしてほしいと思います
- ・子供が何をやっているかわかるお知らせ。学校でチラシ配布など
- ・時代によって変化していくべきだと思います。昔の博物館という概念、とらわれる必要はない！
- ・子ども達は何回行っても楽しめる博物館であってほしい
- ・市民の心がわくわく出来る。一緒に学べて自慢の（誇り）に出来るような…期待しています
- ・子ども達に興味のある恐竜や宇宙に関する展示物の充実
- ・平塚市の歴史、文化を学べる場所。レジャーに流されない学術的展示。子供向けではない博物館が結果的に子供を呼ぶと思います
- ・より体験型の展示や明るい雰囲気があると良いと思う
- ・市の成り立ち、文化、地域の特長等。市の各地区の特長と歴史等の展示
- ・小学生が博物館に通いやすい環境作り、学校の授業の中でももっと利用できる様にする事で興味を持ち自分でも調べてみよう！学芸員における授業など親しみやすい博物館に
- ・親は子どもが興味を持った事に積極的に共に参加します。子どもをまた連れて行ってやりたいと思うような企画、楽しみながらの参加が必要だと思います。知る事は豊かな

人間性を育ててくれます。

- ・学んで楽しんでゆっくり談話できる所がある
- ・昔の生活とかどうゆう風に生活してきたかがわかるような、博物館にしてほしいです。
- ・休憩スペース等を設置してもっと立ち寄り安くしてほしい。
- ・「伝承していく」という点から、盆踊り、和太鼓の映像や平塚の漁港の様子（どんな魚がとれるのか）、災害（自然）のこと川、山、地質の状況等、伝えてほしいです。
- ・市外や県外の方にも誇れる博物館であって欲しい
- ・子供の頃からから博物館で楽しい体験ができるといいと思います。それが大人になっても博物館に出かけることにつながると思います。
- ・バリアフリー対応した綺麗な建物であってほしい。
- ・本やインターネットではわからない、感じる博物館であってほしい。
- ・「また来たい！」という声を、もらえるような、博物館であり、見ている方も、スタッフさんも、誰もがうれしい、楽しい、という気持ちを、もってくれるようでありたいと私は思います。
- ・将来にはデジタルミュージアムになってほしい。
- ・文化の保護と継承
- ・地域の特徴や歴史にこだわったテーマを絞った知識を習得できるような博物館
- ・東京の博物館に行かなくても地元で国宝級のお宝を見たい（小さくても）
- ・インターネットや本では体験できない身近で自分がかかわることができる学びのきっかけを作ってくれる場所とかになると良いと思いますが
- ・癒しの場、学びの場、触れ合いの場。優しい穏やかな時間が流れる場所であってほしい
- ・行きたいと思える博物館。はやりものとのコラボとか。‘平塚市博物館‘カタイ。名称を変えてもいいと思う。〇〇ミュージアムみたいな
- ・何か興味を持った物や宇宙やインターネットや本ではできない、本物を近くで見えて触って体感できる場であり続けてほしい
- ・学校では教えてない専門的な事など人数制限とかなく学べる空間になってほしいなと思います
- ・今暗い雰囲気なので明るく入館しやすいといいです。触ったり体感できるスペース、カフェがあれば利用したい
- ・平塚の良さは史跡や資料館が担って伝えるべき。博物館は科学や歴史そのものに興味を持たせ、その人が次代の学術を担う契機となるべき。市内で子供がそういったものにワクワクするような施設が少なく科学者として寂しい
- ・プラネタリウムのある市は少ないです。平塚にあるのはとても誇りに思います。大事にして学んで行きたいです。

- ・行きたくなるような図書館や美術館などと同じ建物にして、他に来た人も寄って行って来て新しい発見してもらえる。喫茶店とかレストランでもいい。
- ・平塚を日本中に発信できる機関
- ・博物館に行けば平塚の又は各地域の歴史、文化、動植物等多様な事柄が分かるような博物館であってほしい。
- ・博物館だけでなく、近隣の図書館や美術館と協力して、知的・学術的・芸術的な情報の発信源となる。
- ・楽しく知識を得られる場所であるとともに、様々な人との交流もできるなど、オープンな博物館。
- ・平塚の歴史ならなんでもわかる博物館であって欲しい
- ・問8にも書きましたが、常々家族で「せっかく取材も沢山受けているのだから、もっと学芸員の方が活躍出来る博物館になってほしいよね」と話しています！過去ばかりでなく、宇宙や未来に夢を見させてください！
- ・Webで見た限り、展示内容自体は可もなく不可もなくな感じに思う。平塚なのだから、ベルマーレ関連のスポーツ博物館の様な展示があれば市民に喜ばれるのではないかな？
- ・継続的な資料の充実
- ・気軽に足を運べて、平塚を好きになれる場所。
- ・平塚には素晴らしい総合公園があり、現在その隣地に広大な空地があります。そこにサッカー専用スタジアムと体育館&トレーニングルーム&プールなどの総合施設を作り、公園内の空いたところに博物館を移設することで、市民が長時間滞在できる環境を作ることによって活性化させるなどの総合的なプランを立てて欲しいと考えます。
- ・体験がたくさんできるような楽しい博物館にして欲しい。子どもが小さい時には平塚市の博物館よりも伊勢原の博物館に連れて行っていた。体験が沢山できて子どもたちがとても楽しんで行きたがったからです。平塚市の博物館は何度も行きたいとは言わなかった。
- ・博物館が身近に感じられるように公民館などに出張展示などをして数多く市民が博物館に興味を持てるような工夫が必要です。今の建物だけにこだわらずに平塚市街それ自体が博物館になるようなワクワクする仕掛けを作りましょう。
- ・建屋の安全性に不安があります。安全な建屋であって欲しい。
- ・学術拠点として一定のレベルを維持してもらいたい。
- ・身近に平塚のことを深く学べる場所。興味を深い学びに変えられる場所。
- ・今知りたい情報の大半はネット検索で手に入る。検索ランキングを参考にし子供達が見たい知りたい物を常に新しい物に更新して行って欲しい。
- ・話しやすい学芸員やボランティア解説スタッフが常在していて学びだけでなく遊び場であり暇な時に寄りたいたいと思える博物館



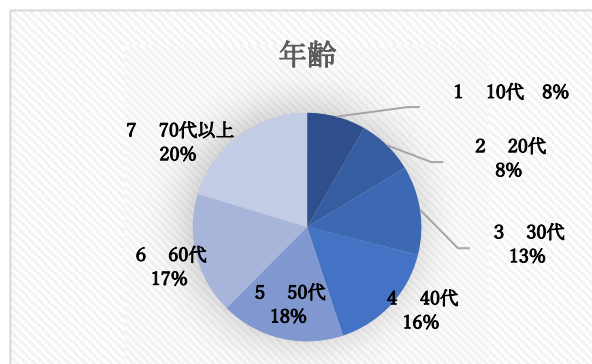
## 平塚市博物館の今後のあり方に関するアンケート調査集計結果

※表中の率は小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

### 回答者の属性(※問10の回答より)

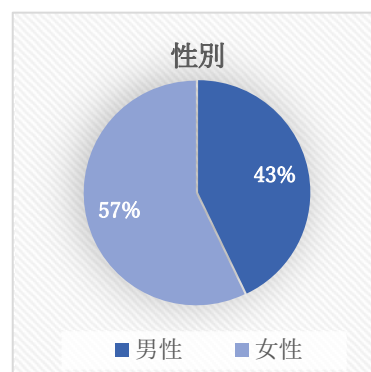
#### (1) 年 齢 (n=325)

年代	回答数	率
1 10代	27	8.1%
2 20代	26	7.8%
3 30代	41	12.3%
4 40代	52	15.7%
5 50代	57	17.2%
6 60代	56	16.9%
7 70代以上	66	19.9%
	325	



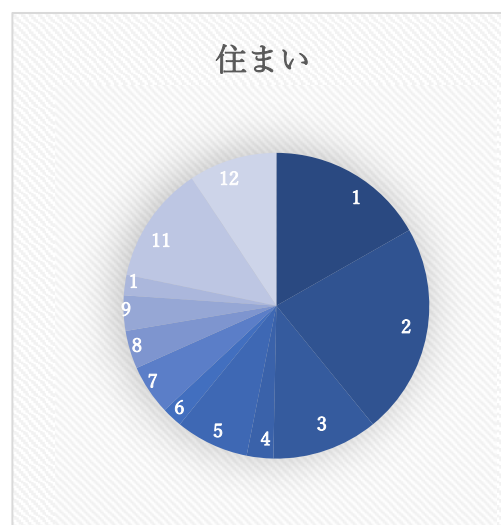
#### (2) 性 別 (n=315)

性別	回答数	率
男性	135	43%
女性	180	57%
	315	



#### (3) お住いの地区名 (n=322)

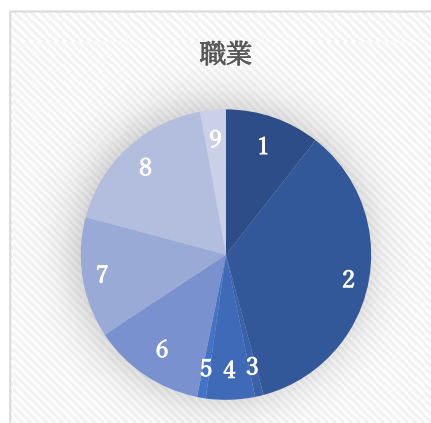
住まい	回答数	率
1 海岸地区	54	16.8%
2 平塚地区	72	22.4%
3 大野地区	36	11.2%
4 豊田地区	9	2.8%
5 神田地区	25	7.8%
6 城島地区	7	2.2%
7 岡崎地区	17	5.3%
8 金田地区	13	4.0%
9 金目地区	12	3.7%
10 土沢地区	7	2.2%
11 旭地区	40	12.4%
12 わからない	30	9.3%
	322	



回答数率 1 海岸地区:54・16.8%、平塚地区:72・22.4%、大野地区:36・11.2%、豊田地区:9・2.8%、神田地区:25・7.8%、城島地区:7・2.2%、岡崎地区:17・5.3%、金田地区:13・4.0%、金目地区:12・3.7%、土沢地区:7・2.2%、旭地区:40・12.4%、わからない:30・9.3% 合計:322

(4) 職業 (n=312)

	職業	率
1	児童・学生	33 10.6%
2	会社員、公務員、団体職員	110 35.3%
3	教員、学芸員	3 1.0%
4	自営業	17 5.4%
5	農林漁業	3 1.0%
6	家事従事者	39 12.5%
7	パート、アルバイト	42 13.5%
8	無職	56 17.9%
9	その他	9 2.9%
	312	



(5) 居住歴 (n=323)

	居住歴	率
1	2年未満	13 4.0%
2	2年以上5年未満	11 3.4%
3	5年以上10年未満	23 7.1%
4	10年以上20年未満	50 15.5%
5	20年以上30年未満	52 16.1%
6	30年以上	174 53.9%
	323	

